

ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型)

－ジャパン・トリプルリターンズ－

日本円・コース (毎月分配型)

豪ドル・コース (毎月分配型)

ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)

米ドル・コース (毎月分配型)

通貨セレクト・コース (毎月分配型)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/国内/株式	
信託期間	2013年6月19日～2023年6月8日	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	日本円・コース (毎月分配型)	①ケイマン籍の外国投資信託「オー ジェンタム・トラスト・クロッキー・ ジャパン・ストラテジー・ファンド (日本円・クラス)」の受益証券 (円 建) ②ダイワ・マネーストック・マザー ファンドの受益証券
	豪ドル・コース (毎月分配型)	①ケイマン籍の外国投資信託「オー ジェンタム・トラスト・クロッキー・ ジャパン・ストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス)」の受益証券 (円 建) ②ダイワ・マネーストック・マザー ファンドの受益証券
	ブラジル・ リアル・コース (毎月分配型)	①ケイマン籍の外国投資信託「オー ジェンタム・トラスト・クロッキー・ ジャパン・ストラテジー・ファンド (ブラジル・リアル・クラス)」の受 益証券 (円建) ②ダイワ・マネーストック・マザー ファンドの受益証券
	米ドル・コース (毎月分配型)	①ケイマン籍の外国投資信託「オー ジェンタム・トラスト・クロッキー・ ジャパン・ストラテジー・ファンド (米ドル・クラス)」の受益証券 (円 建) ②ダイワ・マネーストック・マザー ファンドの受益証券
	通貨セ レクト・コース (毎月分配型)	①ケイマン籍の外国投資信託「オー ジェンタム・トラスト・クロッキー・ ジャパン・ストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス)」の受益証 券 (円建) ②ダイワ・マネーストック・マザー ファンドの受益証券
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益 (評価益を含みます。)等とし、原則として、継続 的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定しま す。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を 行わないことがあります。	

運用報告書 (全体版)

第96期 (決算日 2021年7月8日)

第97期 (決算日 2021年8月10日)

第98期 (決算日 2021年9月8日)

第99期 (決算日 2021年10月8日)

第100期 (決算日 2021年11月8日)

第101期 (決算日 2021年12月8日)

(作成対象期間 2021年6月9日～2021年12月8日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申
上げます。

当ファンドは、割安と判断される日本の株
式とオプション取引を組み合わせたカバード
コール戦略を構築し、信託財産の成長をめざ
しております。当作成期につきましてもそれ
に沿った運用を行ないました。ここに、運用
状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、
お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先 (コールセンター)

TEL 0120-106212

(営業日の9:00～17:00)

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<5765>

<5766>

<5767>

<5768>

<5769>

日本円・コース (毎月分配型)

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			T O P I X		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
72期末(2019年7月8日)	7,697	60	4.9	14,659	3.9	—	98.6	2,701
73期末(2019年8月8日)	7,213	60	△ 5.5	13,806	△ 5.8	—	98.9	2,504
74期末(2019年9月9日)	7,409	60	3.5	14,149	2.5	—	99.3	2,513
75期末(2019年10月8日)	7,384	60	0.5	14,477	2.3	—	98.5	2,492
76期末(2019年11月8日)	7,933	60	8.2	15,631	8.0	—	96.9	2,593
77期末(2019年12月9日)	7,898	60	0.3	15,771	0.9	—	97.7	2,553
78期末(2020年1月8日)	7,911	60	0.9	15,879	0.7	—	98.9	2,497
79期末(2020年2月10日)	7,851	60	0.0	15,944	0.4	—	99.3	2,441
80期末(2020年3月9日)	6,726	60	△ 13.6	13,544	△ 15.0	—	99.6	1,981
81期末(2020年4月8日)	6,339	60	△ 4.9	12,916	△ 4.6	—	99.2	1,862
82期末(2020年5月8日)	6,359	60	1.3	13,133	1.7	—	99.6	1,821
83期末(2020年6月8日)	7,023	60	11.4	14,842	13.0	—	98.9	2,007
84期末(2020年7月8日)	6,892	60	△ 1.0	14,467	△ 2.5	—	99.0	1,886
85期末(2020年8月11日)	6,710	60	△ 1.8	14,237	△ 1.6	—	98.1	1,810
86期末(2020年9月8日)	6,935	60	4.2	14,817	4.1	—	98.1	1,817
87期末(2020年10月8日)	6,883	60	0.1	15,155	2.3	—	98.1	1,788
88期末(2020年11月9日)	6,831	60	0.1	15,266	0.7	—	98.1	1,759
89期末(2020年12月8日)	7,070	60	4.4	16,207	6.2	—	99.4	1,723
90期末(2021年1月8日)	7,277	60	3.8	16,811	3.7	—	99.4	1,792
91期末(2021年2月8日)	7,400	60	2.5	17,406	3.5	—	99.4	1,537
92期末(2021年3月8日)	7,286	60	△ 0.7	17,454	0.3	—	98.8	1,447
93期末(2021年4月8日)	7,491	60	3.6	18,110	3.8	—	98.4	1,478
94期末(2021年5月10日)	7,348	60	△ 1.1	17,793	△ 1.7	—	99.1	1,426
95期末(2021年6月8日)	7,411	60	1.7	18,049	1.4	—	98.9	1,421
96期末(2021年7月8日)	7,279	60	△ 1.0	17,836	△ 1.2	—	98.0	1,393
97期末(2021年8月10日)	7,138	60	△ 1.1	17,759	△ 0.4	—	98.0	1,351
98期末(2021年9月8日)	7,347	60	3.8	18,993	6.9	—	98.1	1,361
99期末(2021年10月8日)	6,886	60	△ 5.5	17,854	△ 6.0	—	98.1	1,234
100期末(2021年11月8日)	7,199	60	5.4	18,791	5.2	—	98.8	1,274
101期末(2021年12月8日)	7,015	60	△ 1.7	18,316	△ 2.5	—	98.1	1,232

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) T O P I Xは、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。また、基準価額への反映を考慮して、1営業日前の日付の終値を採用しています。

(注3) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

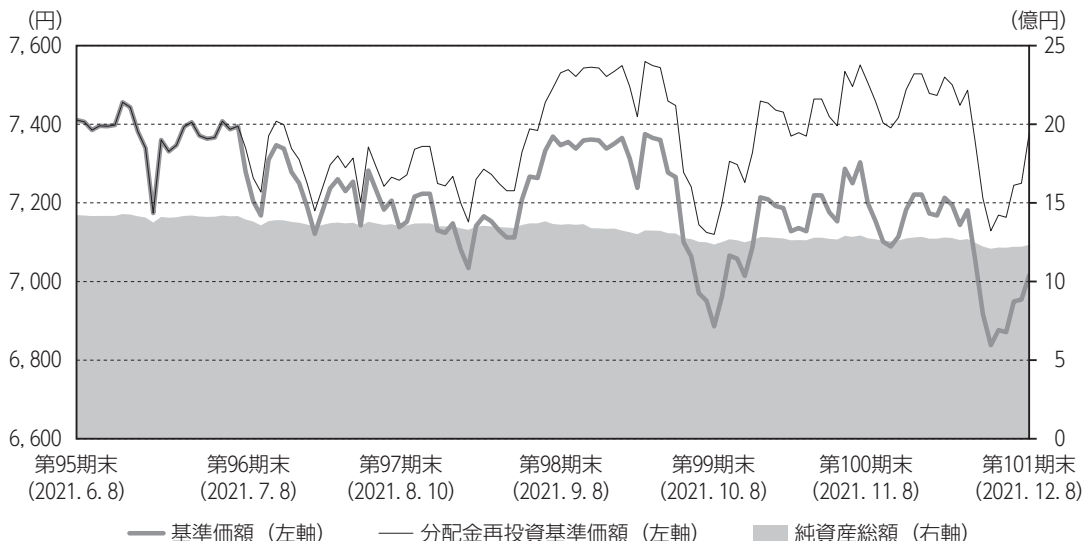
(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第96期首：7,411円

第101期末：7,015円（既払分配金360円）

騰落率：△0.5%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

日本の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略による運用の結果、基準価額は下落しました。株式ポートフォリオ（配当込み）が上昇したことがプラス要因となりましたが、オプション取引についてはマイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ - 日本円・コース (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		T O P I X		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
第96期	(期首) 2021年 6 月 8 日	円 7,411	% —	18,049	% —	% —	% 98.9
	6 月末	7,371	△ 0.5	17,944	△ 0.6	—	99.0
	(期末) 2021年 7 月 8 日	7,339	△ 1.0	17,836	△ 1.2	—	98.0
第97期	(期首) 2021年 7 月 8 日	7,279	—	17,836	—	—	98.0
	7 月末	7,254	△ 0.3	17,741	△ 0.5	—	99.2
	(期末) 2021年 8 月 10 日	7,198	△ 1.1	17,759	△ 0.4	—	98.0
第98期	(期首) 2021年 8 月 10 日	7,138	—	17,759	—	—	98.0
	8 月末	7,112	△ 0.4	17,950	1.1	—	98.5
	(期末) 2021年 9 月 8 日	7,407	3.8	18,993	6.9	—	98.1
第99期	(期首) 2021年 9 月 8 日	7,347	—	18,993	—	—	98.1
	9 月末	7,277	△ 1.0	18,762	△ 1.2	—	99.3
	(期末) 2021年 10 月 8 日	6,946	△ 5.5	17,854	△ 6.0	—	98.1
第100期	(期首) 2021年 10 月 8 日	6,886	—	17,854	—	—	98.1
	10 月末	7,176	4.2	18,406	3.1	—	98.0
	(期末) 2021年 11 月 8 日	7,259	5.4	18,791	5.2	—	98.8
第101期	(期首) 2021年 11 月 8 日	7,199	—	18,791	—	—	98.8
	11 月末	6,917	△ 3.9	17,935	△ 4.6	—	99.1
	(期末) 2021年 12 月 8 日	7,075	△ 1.7	18,316	△ 2.5	—	98.1

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2021. 6. 9 ～ 2021. 12. 8）

国内株式市況

国内株式市場は上昇しました。

国内株式市況は、当作成期首から横ばいで推移しましたが、2021年8月下旬には、国内の新型コロナウイルス感染状況が改善したことを受けて上昇に転じ、9月初めに菅首相の自民党総裁選挙への不出馬表明を受けて株価は一時急騰し、年初来高値を更新しました。しかしその後は、新政権への期待がやや後退したことや、中国の大手不動産会社の信用問題に対する懸念が高まったことなどから、株価は反落しました。10月末には、衆議院議員選挙で自民党が予想以上に議席数を伸ばし、単独で絶対安定多数を維持したことを好感して株価が上昇する局面もありましたが、当作成期末にかけては、新型コロナウイルスの新変異株への警戒感が広がったことなどから、株価は下落しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

当ファンド

今後も、クロッキーファンド（日本円・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、クロッキーファンド（日本円・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

※クロッキーファンド（日本円・クラス）：オージェンタム・トラスト・クロッキー・ジャパン・ストラテジー・ファンド（日本円・クラス）

クロッキーファンド（日本円・クラス）

主として、担保付スワップ取引を通じて、割安と判断される日本の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築します。

- ・投資対象銘柄は「TOPIX100」構成銘柄から金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とします。
- ・ドイツ銀行グループが独自に開発した株式分析手法「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される30銘柄を選定します。
- ・選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。また、銘柄の見直しは約1カ月ごとに行います。
- ・個別銘柄ごとに、コール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2021. 6. 9～2021. 12. 8)

■当ファンド

当ファンドは、クロッキーファンド（日本円・クラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。当完成期は、クロッキーファンド（日本円・クラス）への投資割合を高位に維持することをめざしました。

■クロッキーファンド（日本円・クラス）

株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略のうち、クロッキーモデルによる銘柄選択効果がマイナスに働き、株式ポートフォリオ（配当除く）はTOPIX指数（配当除く）を下回るパフォーマンスとなりました。一方、オプション取引はマイナスとなりました。

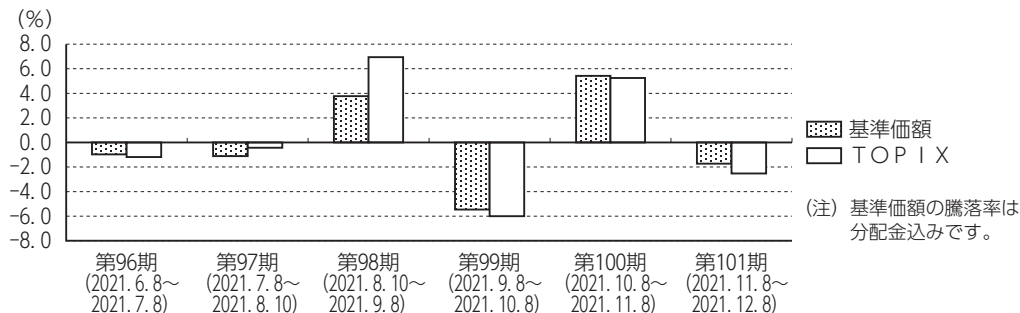
■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■ 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期
	2021年6月9日 ～2021年7月8日	2021年7月9日 ～2021年8月10日	2021年8月11日 ～2021年9月8日	2021年9月9日 ～2021年10月8日	2021年10月9日 ～2021年11月8日	2021年11月9日 ～2021年12月8日
当期分配金(税込み) (円)	60	60	60	60	60	60
対基準価額比率 (%)	0.82	0.83	0.81	0.86	0.83	0.85
当期の収益 (円)	50	49	57	48	60	49
当期の収益以外 (円)	9	10	2	11	—	10
翌期繰越分配対象額 (円)	1,409	1,398	1,396	1,384	1,397	1,387

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■ 収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 50.14円	✓ 49.35円	✓ 57.81円	✓ 48.21円	✓ 73.04円	✓ 49.52円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	533.03	535.24	536.71	537.94	539.49	542.73
(d) 分配準備積立金	✓ 885.99	✓ 873.93	✓ 861.83	✓ 858.42	845.10	✓ 854.91
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	1,469.17	1,458.53	1,456.36	1,444.58	1,457.63	1,447.16
(f) 分配金	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	1,409.17	1,398.53	1,396.36	1,384.58	1,397.63	1,387.16

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

今後も、クロッキーファンド (日本円・クラス) とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、クロッキーファンド (日本円・クラス) への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■クロッキーファンド (日本円・クラス)

主として、担保付スワップ取引を通じて、割安と判断される日本の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築します。

- ・投資対象銘柄は「TOP 1 X 100」構成銘柄から金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とします。
- ・ドイツ銀行グループが独自に開発した株式分析手法「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される30銘柄を選定します。
- ・選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。また、銘柄の見直しは約1カ月ごとに行います。
- ・個別銘柄ごとに、コール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第96期～第101期 (2021. 6. 9～2021. 12. 8)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	54円	0.746%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は7,212円です。
(投 信 会 社)	(19)	(0.264)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(34)	(0.468)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	54	0.749	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

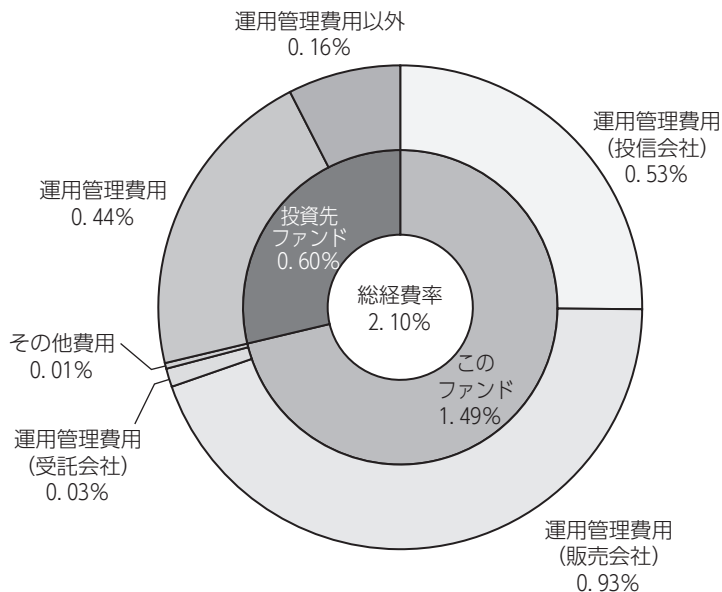
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.10%です。



総経費率（①＋②＋③）	2.10%
①このファンドの費用の比率	1.49%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.44%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.16%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

（2021年6月9日から2021年12月8日まで）

決算期	第 96 期 ～ 第 101 期			
	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
外国 (邦貨建)	千口 1,020,943,133	千円 67,697	千口 2,994,435,707	千円 200,000

（注1）買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

（注2）金額は受渡し代金。

（注3）金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

（2021年6月9日から2021年12月8日まで）

銘 柄	第 96 期 ～			第 101 期			
	買 付			売 付			
	口 数	金 額	平均単価	口 数	金 額	平均単価	
	千口	千円	円	千口	千円	円	
				CROCI JAPAN STRATEGY FUND JPY CLASS (ケイマン諸島)	2,994,435,707	200,000	66

（注1）金額は受渡し代金。

（注2）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 101 期 末		
	口 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) CROCI JAPAN STRATEGY FUND JPY CLASS	18,410,423,975	1,208,828	98.1

（注1）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

（注2）評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第95期末	第 101 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	398	398	399

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2021年12月8日現在

項 目	第 101 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	1,208,828	96.5
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	399	0.0
コール・ローン等、その他	42,942	3.5
投資信託財産総額	1,252,170	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ - 日本円・コース (毎月分配型)

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2021年7月8日)、(2021年8月10日)、(2021年9月8日)、(2021年10月8日)、(2021年11月8日)、(2021年12月8日)現在

項目	第96期末	第97期末	第98期末	第99期末	第100期末	第101期末
(A) 資産	1,407,827,364円	1,365,614,906円	1,440,396,300円	1,249,751,595円	1,287,164,283円	1,252,170,233円
コール・ローン等	41,220,731	39,928,202	20,383,063	37,578,960	26,885,562	42,942,752
投資信託受益証券 (評価額)	1,366,207,511	1,325,287,621	1,334,814,155	1,211,773,552	1,259,879,678	1,208,828,438
ダイワ・マネーストック・マザーファンド (評価額)	399,122	399,083	399,083	399,083	399,043	399,043
未収入金	—	—	84,799,999	—	—	—
(B) 負債	13,960,044	13,898,637	79,184,028	15,136,616	12,487,603	19,769,955
未払金	—	—	42,400,000	—	—	—
未払収益分配金	11,489,918	11,361,537	11,116,334	10,757,761	10,624,190	10,540,457
未払解約金	728,676	671,915	24,033,635	2,723,147	211,060	7,636,936
未払信託報酬	1,731,879	1,845,419	1,605,420	1,618,127	1,605,896	1,537,608
その他未払費用	9,571	19,766	28,639	37,581	46,457	54,954
(C) 純資産総額 (A - B)	1,393,867,320	1,351,716,269	1,361,212,272	1,234,614,979	1,274,676,680	1,232,400,278
元本	1,914,986,336	1,893,589,505	1,852,722,440	1,792,960,222	1,770,698,436	1,756,742,954
次期繰越損益金	△ 521,119,016	△ 541,873,236	△ 491,510,168	△ 558,345,243	△ 496,021,756	△ 524,342,676
(D) 受益権総口数	1,914,986,336口	1,893,589,505口	1,852,722,440口	1,792,960,222口	1,770,698,436口	1,756,742,954口
1万口当り基準価額 (C/D)	7,279円	7,138円	7,347円	6,886円	7,199円	7,015円

*第95期末における元本額は1,918,494,588円、当作成期間(第96期~第101期)中における追加設定元本額は23,402,279円、同解約元本額は185,153,913円です。

*第101期末の計算口数当りの純資産額は7,015円です。

*第101期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は524,342,676円です。

■損益の状況

第96期 自 2021年6月9日 至 2021年7月8日 第98期 自 2021年8月11日 至 2021年9月8日 第100期 自 2021年10月9日 至 2021年11月8日

第97期 自 2021年7月9日 至 2021年8月10日 第99期 自 2021年9月9日 至 2021年10月8日 第101期 自 2021年11月9日 至 2021年12月8日

項目	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期
(A) 配当等収益	11,343,370円	11,200,507円	11,059,721円	10,272,554円	13,249,565円	10,245,992円
受取配当金	11,343,749	11,201,244	11,060,501	10,273,028	13,250,206	10,246,615
受取利息	—	22	23	3	1	—
支払利息	△ 379	△ 759	△ 803	△ 477	△ 642	△ 623
(B) 有価証券売買損益	△ 23,449,238	△ 24,571,899	40,337,658	△ 80,572,020	54,370,060	△ 30,391,703
売買益	17,194	197,271	40,710,279	227,383	54,850,765	460,636
売買損	△ 23,466,432	△ 24,769,170	△ 372,621	△ 80,799,403	△ 480,705	△ 30,852,339
(C) 信託報酬等	△ 1,741,450	△ 1,855,614	△ 1,614,293	△ 1,627,069	△ 1,614,772	△ 1,546,105
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 13,847,318	△ 15,227,006	49,783,086	△ 71,926,535	66,004,853	△ 21,691,816
(E) 前期繰越損益金	△ 430,628,129	△ 449,737,044	△ 465,259,829	△ 412,244,155	△ 487,895,820	△ 427,489,927
(F) 追加信託差損益金	△ 65,153,651	△ 65,547,649	△ 64,917,091	△ 63,416,792	△ 63,506,599	△ 64,620,476
(配当等相当額)	(102,075,574)	(101,353,601)	(99,437,472)	(96,451,445)	(95,527,674)	(95,343,931)
(売買損益相当額)	(△ 167,229,225)	(△ 166,901,250)	(△ 164,354,563)	(△ 159,868,237)	(△ 159,034,273)	(△ 159,964,407)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 509,629,098	△ 530,511,699	△ 480,393,834	△ 547,587,482	△ 485,397,566	△ 513,802,219
(H) 収益分配金	△ 11,489,918	△ 11,361,537	△ 11,116,334	△ 10,757,761	△ 10,624,190	△ 10,540,457
次期繰越損益金 (G + H)	△ 521,119,016	△ 541,873,236	△ 491,510,168	△ 558,345,243	△ 496,021,756	△ 524,342,676
追加信託差損益金	△ 65,153,651	△ 65,547,649	△ 64,917,091	△ 63,416,792	△ 63,506,599	△ 64,620,476
(配当等相当額)	(102,075,574)	(101,353,601)	(99,437,472)	(96,451,445)	(95,527,674)	(95,343,931)
(売買損益相当額)	(△ 167,229,225)	(△ 166,901,250)	(△ 164,354,563)	(△ 159,868,237)	(△ 159,034,273)	(△ 159,964,407)
分配準備積立金	167,779,559	163,471,093	159,269,399	151,799,920	151,951,970	148,345,919
繰越損益金	△ 623,744,924	△ 639,796,680	△ 585,862,476	△ 646,728,371	△ 584,467,127	△ 608,068,119

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期
(a) 経費控除後の配当等収益	9,601,914円	9,344,880円	10,712,318円	8,645,479円	12,933,223円	8,699,878円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	102,075,574	101,353,601	99,437,472	96,451,445	95,527,674	95,343,931
(d) 分配準備積立金	169,667,563	165,487,750	159,673,415	153,912,202	149,642,937	150,186,498
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	281,345,051	276,186,231	269,823,205	259,009,126	258,103,834	254,230,307
(f) 分配金	11,489,918	11,361,537	11,116,334	10,757,761	10,624,190	10,540,457
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	269,855,133	264,824,694	258,706,871	248,251,365	247,479,644	243,689,850
(h) 受益権総口数	1,914,986,336口	1,893,589,505口	1,852,722,440口	1,792,960,222口	1,770,698,436口	1,756,742,954口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期
		60円	60円	60円	60円	60円

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

豪ドル・コース (毎月分配型)

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			TOPIX		豪ドル為替レート		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率	純資産額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率			
	円	円	%		%	円	%	%	%	百万円
72期末(2019年7月8日)	5,331	50	4.8	14,659	3.9	75.75	△ 0.1	—	99.3	471
73期末(2019年8月8日)	4,707	50	△ 10.8	13,806	△ 5.8	71.70	△ 5.3	—	98.3	408
74期末(2019年9月9日)	4,938	50	6.0	14,149	2.5	73.15	2.0	—	98.4	426
75期末(2019年10月8日)	4,840	50	△ 1.0	14,477	2.3	72.29	△ 1.2	—	98.5	402
76期末(2019年11月8日)	5,408	50	12.8	15,631	8.0	75.34	4.2	—	97.1	436
77期末(2019年12月9日)	5,302	50	△ 1.0	15,771	0.9	74.21	△ 1.5	—	98.9	401
78期末(2020年1月8日)	5,326	50	1.4	15,879	0.7	73.93	△ 0.4	—	98.6	391
79期末(2020年2月10日)	5,188	50	△ 1.7	15,944	0.4	73.27	△ 0.9	—	98.7	379
80期末(2020年3月9日)	4,212	50	△ 17.8	13,544	△ 15.0	67.44	△ 8.0	—	98.4	305
81期末(2020年4月8日)	3,798	50	△ 8.6	12,916	△ 4.6	66.72	△ 1.1	—	98.4	275
82期末(2020年5月8日)	3,868	50	3.2	13,133	1.7	69.42	4.0	—	99.2	281
83期末(2020年6月8日)	4,705	50	22.9	14,842	13.0	76.45	10.1	—	98.9	338
84期末(2020年7月8日)	4,509	50	△ 3.1	14,467	△ 2.5	74.65	△ 2.4	—	99.4	323
85期末(2020年8月11日)	4,418	50	△ 0.9	14,237	△ 1.6	75.86	1.6	—	98.7	314
86期末(2020年9月8日)	4,607	50	5.4	14,817	4.1	77.38	2.0	—	99.7	328
87期末(2020年10月8日)	4,478	50	△ 1.7	15,155	2.3	75.63	△ 2.3	—	98.0	319
88期末(2020年11月9日)	4,400	50	△ 0.6	15,266	0.7	75.15	△ 0.6	—	98.1	311
89期末(2020年12月8日)	4,671	50	7.3	16,207	6.2	77.16	2.7	—	98.1	326
90期末(2021年1月8日)	4,950	50	7.0	16,811	3.7	80.54	4.4	—	99.1	346
91期末(2021年2月8日)	5,019	50	2.4	17,406	3.5	80.95	0.5	—	99.4	344
92期末(2021年3月8日)	5,064	50	1.9	17,454	0.3	83.57	3.2	—	98.0	337
93期末(2021年4月8日)	5,226	50	4.2	18,110	3.8	83.64	0.1	—	98.0	343
94期末(2021年5月10日)	5,200	50	0.5	17,793	△ 1.7	85.44	2.2	—	98.1	338
95期末(2021年6月8日)	5,199	50	0.9	18,049	1.4	84.83	△ 0.7	—	99.0	338
96期末(2021年7月8日)	4,975	50	△ 3.3	17,836	△ 1.2	82.57	△ 2.7	—	99.7	325
97期末(2021年8月10日)	4,774	50	△ 3.0	17,759	△ 0.4	80.93	△ 2.0	—	98.1	312
98期末(2021年9月8日)	4,903	50	3.7	18,993	6.9	81.51	0.7	—	99.5	316
99期末(2021年10月8日)	4,608	50	△ 5.0	17,854	△ 6.0	81.76	0.3	—	97.9	298
100期末(2021年11月8日)	4,923	50	7.9	18,791	5.2	84.00	2.7	—	98.0	316
101期末(2021年12月8日)	4,604	50	△ 5.5	18,316	△ 2.5	80.85	△ 3.8	—	98.9	290

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) TOPIXは、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。また、基準価額への反映を考慮して、1営業日前の日付の終値を採用しています。

(注3) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

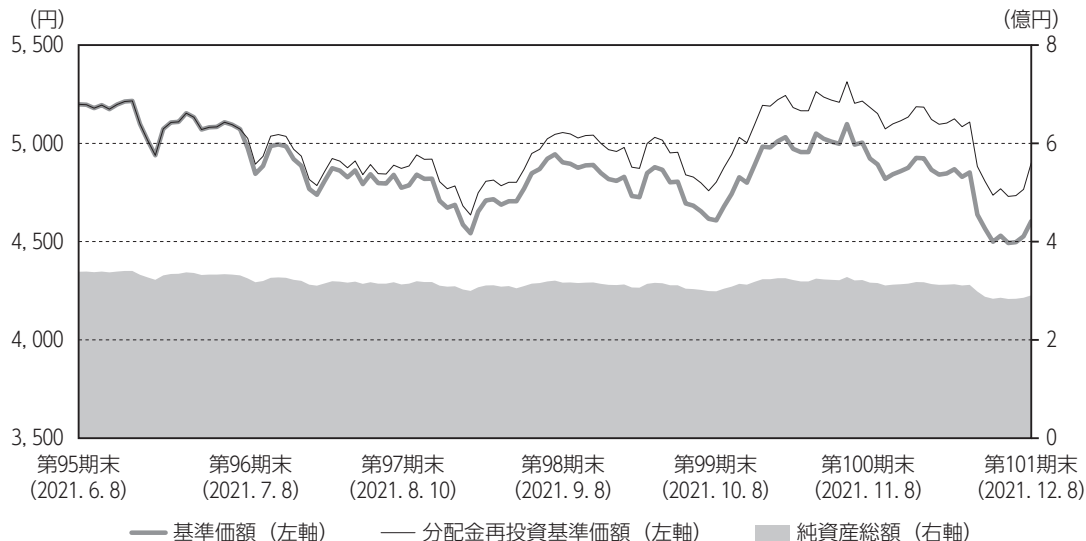
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

第96期首：5,199円

第101期末：4,604円（既払分配金300円）

騰落率：△5.8%（分配金再投資ベース）

■ 基準価額の主な変動要因

日本の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略による運用と為替取引の結果、基準価額は下落しました。株式ポートフォリオ（配当込み）が上昇したことがプラス要因となりましたが、オプション取引についてはマイナス要因となりました。また為替取引（日本円売り／豪ドル買い）は、円高が進行したことがマイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 豪ドル・コース (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		T O P I X		豪ドル為替レート		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	騰落率	(参考指数)	騰落率	(参考指数)	騰落率		
第96期	(期首) 2021年 6 月 8 日	5,199	—	18,049	—	84.83	—	—	99.0
	6 月末	5,070	△ 2.5	17,944	△ 0.6	83.12	△ 2.0	—	98.5
	(期末) 2021年 7 月 8 日	5,025	△ 3.3	17,836	△ 1.2	82.57	△ 2.7	—	99.7
第97期	(期首) 2021年 7 月 8 日	4,975	—	17,836	—	82.57	—	—	99.7
	7 月末	4,862	△ 2.3	17,741	△ 0.5	80.86	△ 2.1	—	99.5
	(期末) 2021年 8 月 10 日	4,824	△ 3.0	17,759	△ 0.4	80.93	△ 2.0	—	98.1
第98期	(期首) 2021年 8 月 10 日	4,774	—	17,759	—	80.93	—	—	98.1
	8 月末	4,705	△ 1.4	17,950	1.1	80.18	△ 0.9	—	100.2
	(期末) 2021年 9 月 8 日	4,953	3.7	18,993	6.9	81.51	0.7	—	99.5
第99期	(期首) 2021年 9 月 8 日	4,903	—	18,993	—	81.51	—	—	99.5
	9 月末	4,802	△ 2.1	18,762	△ 1.2	80.46	△ 1.3	—	99.3
	(期末) 2021年 10 月 8 日	4,658	△ 5.0	17,854	△ 6.0	81.76	0.3	—	97.9
第100期	(期首) 2021年 10 月 8 日	4,608	—	17,854	—	81.76	—	—	97.9
	10 月末	5,009	8.7	18,406	3.1	85.59	4.7	—	99.0
	(期末) 2021年 11 月 8 日	4,973	7.9	18,791	5.2	84.00	2.7	—	98.0
第101期	(期首) 2021年 11 月 8 日	4,923	—	18,791	—	84.00	—	—	98.0
	11 月末	4,566	△ 7.3	17,935	△ 4.6	81.29	△ 3.2	—	97.8
	(期末) 2021年 12 月 8 日	4,654	△ 5.5	18,316	△ 2.5	80.85	△ 3.8	—	98.9

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2021. 6. 9 ～ 2021. 12. 8）

国内株式市況

国内株式市場は上昇しました。

国内株式市況は、当作成期首から横ばいで推移しましたが、2021年8月下旬には、国内の新型コロナウイルス感染状況が改善したことを受けて上昇に転じ、9月初めに菅首相の自民党総裁選挙への不出馬表明を受けて株価は一時急騰し、年初来高値を更新しました。しかしその後は、新政権への期待がやや後退したことや、中国の大手不動産会社の信用問題に対する懸念が高まったことなどから、株価は反落しました。10月末には、衆議院議員選挙で自民党が予想以上に議席数を伸ばし、単独で絶対安定多数を維持したことを好感して株価が上昇する局面もありましたが、当作成期末にかけては、新型コロナウイルスの新変異株への警戒感が広がったことなどから、株価は下落しました。

為替相場

豪ドルは対円で下落（円高）しました。

当作成期首より、オーストラリア国内での新型コロナウイルス変異株の感染拡大などから、豪ドルは対円で下落しました。10月に入ると、石炭価格の上昇や石炭・液化天然ガスの輸出の堅調さから貿易黒字が過去最大となったことが好感され、豪ドルは大きく買われました。しかしその後は、RBA（オーストラリア準備銀行）の政策変更が予想ほどタカ派的ではないことや資源価格の下落を受けて、豪ドルは対円で下落しました。

短期金利市況

オーストラリアの短期金利は、RBA（オーストラリア準備銀行）が政策金利を0.10%で据え置きました。一方、日本の短期金利は、日銀が「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を維持し、低位で推移しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

当ファンド

今後も、クロッキーファンド（豪ドル・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、クロッキーファンド（豪ドル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

※クロッキーファンド（豪ドル・クラス）：オージェンタム・トラスト・クロッキー・ジャパン・ストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）

■クロッキーファンド (豪ドル・クラス)

1. 主として、担保付スワップ取引を通じて、割安と判断される日本の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築します。
 - ・投資対象銘柄は「TOP I X 100」構成銘柄から金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とします。
 - ・ドイツ銀行グループが独自に開発した株式分析手法「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される30銘柄を選定します。
 - ・選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。また、銘柄の見直しは約1カ月ごとに行います。
 - ・個別銘柄ごとに、コール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。
2. 為替取引を活用します。

日本円売り／豪ドル買いの為替取引を行います。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2021. 6. 9 ~ 2021. 12. 8)

■当ファンド

当ファンドは、クロッキーファンド (豪ドル・クラス) とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期は、クロッキーファンド (豪ドル・クラス) への投資割合を高位に維持することをめざしました。

■クロッキーファンド (豪ドル・クラス)

株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略のうち、クロッキーモデルによる銘柄選択効果がマイナスに働き、株式ポートフォリオ (配当除く) はTOP I X 指数 (配当除く) を下回るパフォーマンスとなりました。一方、オプション取引についてはマイナスとなりました。

円建ての資産に対して、日本円売り／豪ドル買いの為替取引を行いました。

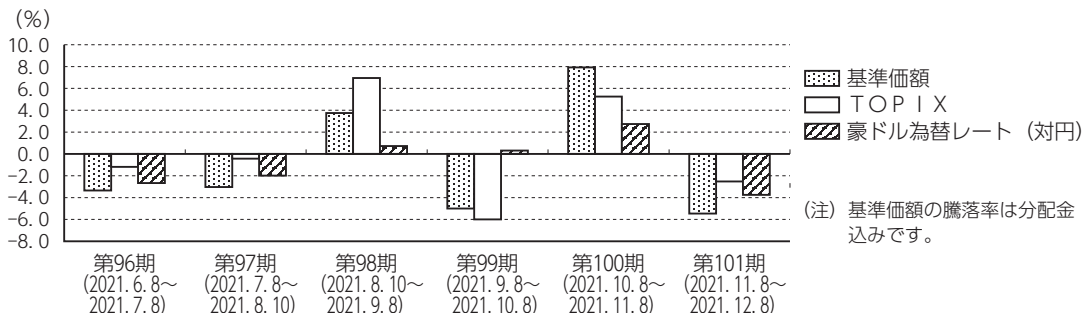
■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期
	2021年6月9日 ～2021年7月8日	2021年7月9日 ～2021年8月10日	2021年8月11日 ～2021年9月8日	2021年9月9日 ～2021年10月8日	2021年10月9日 ～2021年11月8日	2021年11月9日 ～2021年12月8日
当期分配金(税込み) (円)	50	50	50	50	50	50
対基準価額比率 (%)	1.00	1.04	1.01	1.07	1.01	1.07
当期の収益 (円)	35	34	38	31	47	34
当期の収益以外 (円)	14	15	11	18	2	15
翌期繰越分配対象額 (円)	1,156	1,141	1,130	1,111	1,108	1,093

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項目	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 35.52円	✓ 34.54円	✓ 38.76円	✓ 31.36円	✓ 47.21円	✓ 34.90円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	830.73	831.86	834.03	835.31	836.19	837.34
(d) 分配準備積立金	✓ 340.50	✓ 324.93	✓ 307.32	✓ 294.85	✓ 275.34	✓ 271.46
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	1,206.76	1,191.34	1,180.13	1,161.54	1,158.76	1,143.71
(f) 分配金	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	1,156.76	1,141.34	1,130.13	1,111.54	1,108.76	1,093.71

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

今後も、クロッキーファンド（豪ドル・クラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、クロッキーファンド（豪ドル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■クロッキーファンド（豪ドル・クラス）

- 主として、担保付スワップ取引を通じて、割安と判断される日本の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築します。
 - 投資対象銘柄は「TOP 1 X 100」構成銘柄から金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とします。
 - ドイツ銀行グループが独自に開発した株式分析手法「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される30銘柄を選定します。
 - 選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。また、銘柄の見直しは約1カ月ごとに行います。
 - 個別銘柄ごとに、コール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。
- 為替取引を活用します。

日本円売り／豪ドル買いの為替取引を行います。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第96期～第101期 (2021. 6. 9～2021. 12. 8)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	36円	0.745%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は4,867円です。
（投 信 会 社）	(13)	(0.264)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(23)	(0.468)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(1)	(0.013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	36	0.749	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

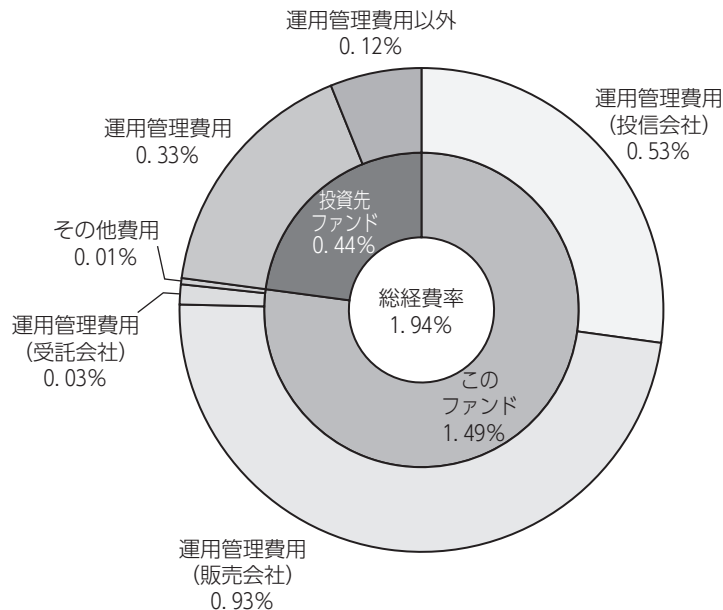
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.94%です。



総経費率（①＋②＋③）	1.94%
①このファンドの費用の比率	1.49%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.33%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.12%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

（2021年6月9日から2021年12月8日まで）

決算期	第 96 期 ～ 第 101 期			
	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
外国 (邦貨建)	千口 377.704112	千円 19,322	千口 671.168886	千円 34,100

（注1）買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

（注2）金額は受渡し代金。

（注3）金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

（2021年6月9日から2021年12月8日まで）

第 96 期 ～				第 101 期			
買 付			売 付				
銘 柄	口 数	金 額	平均単価	銘 柄	口 数	金 額	平均単価
CROCI JAPAN STRATEGY FUND AUD CLASS (ケイマン諸島)	千口 61.766522	千円 3,100	円 50	CROCI JAPAN STRATEGY FUND AUD CLASS (ケイマン諸島)	千口 671.168886	千円 34,100	円 50

（注1）金額は受渡し代金。

（注2）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 101 期 末		
	口 数	評価額	比 率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) CROCI JAPAN STRATEGY FUND AUD CLASS	千口 5,738.667249	千円 287,294	% 98.9

（注1）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

（注2）評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第95期末	第 101 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	千口 99	千口 99	千円 99

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2021年12月8日現在

項 目	第 101 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 287,294	% 97.7
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	99	0.0
コール・ローン等、その他	6,649	2.3
投資信託財産総額	294,043	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 豪ドル・コース (毎月分配型)

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2021年7月8日)、(2021年8月10日)、(2021年9月8日)、(2021年10月8日)、(2021年11月8日)、(2021年12月8日)現在

項目	第96期末	第97期末	第98期末	第99期末	第100期末	第101期末
(A) 資産	328,767,247円	316,728,031円	321,706,043円	302,497,605円	320,353,670円	294,043,951円
コール・ローン等	4,462,565	9,769,470	6,359,420	9,743,342	9,834,644	6,649,293
投資信託受益証券 (評価額)	324,204,902	306,858,791	315,246,853	292,654,493	310,419,266	287,294,898
ダイワ・マネースtock・マザーファンド (評価額)	99,780	99,770	99,770	99,770	99,760	99,760
(B) 負債	3,679,819	3,785,303	4,987,106	3,632,615	3,635,504	3,542,010
未払収益分配金	3,267,385	3,277,622	3,229,819	3,242,886	3,216,458	3,155,140
未払解約金	150	74,967	1,381,838	—	5,083	—
未払信託報酬	410,030	428,105	368,814	380,998	403,019	373,871
その他未払費用	2,254	4,609	6,635	8,731	10,944	12,999
(C) 純資産総額 (A - B)	325,087,428	312,942,728	316,718,937	298,864,990	316,718,166	290,501,941
元本	653,477,154	655,524,457	645,963,849	648,577,389	643,291,679	631,028,007
次期繰越損益金	△ 328,389,726	△ 342,581,729	△ 329,244,912	△ 349,712,399	△ 326,573,513	△ 340,526,066
(D) 受益権総口数	653,477,154口	655,524,457口	645,963,849口	648,577,389口	643,291,679口	631,028,007口
1万口当り基準価額 (C/D)	4,975円	4,774円	4,903円	4,608円	4,923円	4,604円

*第95期末における元本額は651,492,717円、当作成期前 (第96期～第101期) 中における追加設定元本額は17,530,507円、同解約元本額は37,995,217円です。

*第101期末の計算口数当りの純資産額は4,604円です。

*第101期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は340,526,066円です。

■損益の状況

第96期 自 2021年6月9日 至 2021年7月8日 第98期 自 2021年8月11日 至 2021年9月8日 第100期 自 2021年10月9日 至 2021年11月8日
 第97期 自 2021年7月9日 至 2021年8月10日 第99期 自 2021年9月9日 至 2021年10月8日 第101期 自 2021年11月9日 至 2021年12月8日

項目	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期
(A) 配当等収益	2,733,491円	2,694,809円	2,584,629円	2,417,276円	3,089,930円	2,578,493円
受取配当金	2,733,598	2,694,871	2,584,796	2,417,315	3,090,090	2,578,758
受取利息	—	3	3	—	—	—
支払利息	△ 107	△ 65	△ 170	△ 39	△ 160	△ 265
(B) 有価証券売買損益	△ 13,686,366	△ 12,138,652	9,355,735	△ 17,907,946	20,816,054	△ 19,200,890
売買益	20,619	2,561	9,430,207	1,893	21,057,115	429,941
売買損	△ 13,706,985	△ 12,141,213	△ 74,472	△ 17,909,839	△ 241,061	△ 19,630,831
(C) 信託報酬等	△ 412,284	△ 430,460	△ 370,840	△ 383,094	△ 405,232	△ 375,926
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 11,365,159	△ 9,874,303	11,569,524	△ 15,873,764	23,500,752	△ 16,998,323
(E) 前期繰越損益金	△ 262,368,790	△ 276,935,273	△ 283,872,723	△ 275,489,929	△ 291,279,426	△ 264,750,660
(F) 追加信託差損益金	△ 51,388,392	△ 52,494,531	△ 53,711,894	△ 55,105,820	△ 55,578,381	△ 55,621,943
(配当等相当額)	(54,286,929)	(54,531,029)	(53,875,454)	(54,176,796)	(53,792,012)	(52,838,849)
(売買損益相当額)	(△ 105,675,321)	(△ 107,025,560)	(△ 107,587,348)	(△ 109,282,616)	(△ 109,370,393)	(△ 108,460,792)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 325,122,341	△ 339,304,107	△ 326,015,093	△ 346,469,513	△ 323,357,055	△ 337,370,926
(H) 収益分配金	△ 3,267,385	△ 3,277,622	△ 3,229,819	△ 3,242,886	△ 3,216,458	△ 3,155,140
次期繰越損益金 (G + H)	△ 328,389,726	△ 342,581,729	△ 329,244,912	△ 349,712,399	△ 326,573,513	△ 340,526,066
追加信託差損益金	△ 51,388,392	△ 52,494,531	△ 53,711,894	△ 55,105,820	△ 55,578,381	△ 55,621,943
(配当等相当額)	(54,286,929)	(54,531,029)	(53,875,454)	(54,176,796)	(53,792,012)	(52,838,849)
(売買損益相当額)	(△ 105,675,321)	(△ 107,025,560)	(△ 107,587,348)	(△ 109,282,616)	(△ 109,370,393)	(△ 108,460,792)
分配準備積立金	21,305,309	20,286,956	19,126,876	17,915,181	17,533,931	16,177,329
繰越損益金	△ 298,306,643	△ 310,374,154	△ 294,659,894	△ 312,521,760	△ 288,529,063	△ 301,081,452

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期
(a) 経費控除後の配当等収益	2,321,207円	2,264,348円	2,504,342円	2,034,182円	3,037,534円	2,202,567円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	54,286,929	54,531,029	53,875,454	54,176,796	53,792,012	52,838,849
(d) 分配準備積立金	22,251,487	21,300,230	19,852,353	19,123,885	17,712,855	17,129,902
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	78,859,623	78,095,607	76,232,149	75,334,863	74,542,401	72,171,318
(f) 分配金	3,267,385	3,277,622	3,229,819	3,242,886	3,216,458	3,155,140
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	75,592,238	74,817,985	73,002,330	72,091,977	71,325,943	69,016,178
(h) 受益権総口数	653,477,154□	655,524,457□	645,963,849□	648,577,389□	643,291,679□	631,028,007□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期
	50円	50円	50円	50円	50円	50円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			TOPIX		ブラジル・リアル 為替レート		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	円	%	%	%	百万円
72期末(2019年7月8日)	3,748	40	6.6	14,659	3.9	28.40	1.6	—	98.6	3,147
73期末(2019年8月8日)	3,280	40	△ 11.4	13,806	△ 5.8	26.71	△ 6.0	—	98.0	2,746
74期末(2019年9月9日)	3,311	40	2.2	14,149	2.5	26.33	△ 1.4	—	98.7	2,685
75期末(2019年10月8日)	3,295	40	0.7	14,477	2.3	26.14	△ 0.7	—	98.3	2,565
76期末(2019年11月8日)	3,592	40	10.2	15,631	8.0	26.66	2.0	—	96.7	2,683
77期末(2019年12月9日)	3,478	40	△ 2.1	15,771	0.9	26.23	△ 1.6	—	97.3	2,549
78期末(2020年1月8日)	3,543	40	3.0	15,879	0.7	26.52	1.1	—	98.1	2,530
79期末(2020年2月10日)	3,357	40	△ 4.1	15,944	0.4	25.38	△ 4.3	—	99.0	2,308
80期末(2020年3月9日)	2,517	40	△ 23.8	13,544	△ 15.0	22.05	△ 13.1	—	98.2	1,720
81期末(2020年4月8日)	2,116	40	△ 14.3	12,916	△ 4.6	20.80	△ 5.7	—	98.4	1,435
82期末(2020年5月8日)	1,813	40	△ 12.4	13,133	1.7	18.22	△ 12.4	—	99.6	1,218
83期末(2020年6月8日)	2,451	40	37.4	14,842	13.0	22.07	21.1	—	99.3	1,639
84期末(2020年7月8日)	2,182	40	△ 9.3	14,467	△ 2.5	20.00	△ 9.4	—	98.6	1,454
85期末(2020年8月11日)	2,049	25	△ 4.9	14,237	△ 1.6	19.37	△ 3.2	—	98.0	1,367
86期末(2020年9月8日)	2,180	25	7.6	14,817	4.1	20.05	3.5	—	98.0	1,415
87期末(2020年10月8日)	2,030	25	△ 5.7	15,155	2.3	18.90	△ 5.7	—	98.1	1,301
88期末(2020年11月9日)	2,004	25	△ 0.0	15,266	0.7	19.22	1.7	—	98.2	1,280
89期末(2020年12月8日)	2,241	25	13.1	16,207	6.2	20.37	6.0	—	99.8	1,400
90期末(2021年1月8日)	2,173	25	△ 1.9	16,811	3.7	19.22	△ 5.6	—	99.3	1,320
91期末(2021年2月8日)	2,239	25	4.2	17,406	3.5	19.62	2.1	—	98.4	1,337
92期末(2021年3月8日)	2,120	25	△ 4.2	17,454	0.3	19.06	△ 2.9	—	98.1	1,250
93期末(2021年4月8日)	2,244	25	7.0	18,110	3.8	19.5527	2.6	—	98.0	1,290
94期末(2021年5月10日)	2,320	25	4.5	17,793	△ 1.7	20.7642	6.2	—	98.2	1,312
95期末(2021年6月8日)	2,421	25	5.4	18,049	1.4	21.6869	4.4	—	98.0	1,352
96期末(2021年7月8日)	2,310	25	△ 3.6	17,836	△ 1.2	21.1296	△ 2.6	—	98.0	1,270
97期末(2021年8月10日)	2,266	25	△ 0.8	17,759	△ 0.4	21.0762	△ 0.3	—	99.0	1,221
98期末(2021年9月8日)	2,352	25	4.9	18,993	6.9	21.3284	1.2	—	98.5	1,243
99期末(2021年10月8日)	2,100	25	△ 9.7	17,854	△ 6.0	20.2432	△ 5.1	—	98.1	1,102
100期末(2021年11月8日)	2,214	25	6.6	18,791	5.2	20.4947	1.2	—	99.2	1,140
101期末(2021年12月8日)	2,128	25	△ 2.8	18,316	△ 2.5	20.2399	△ 1.2	—	98.1	1,066

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) TOPIXは、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。また、基準価額への反映を考慮して、1営業日前の日付の終値を採用しています。

(注3) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

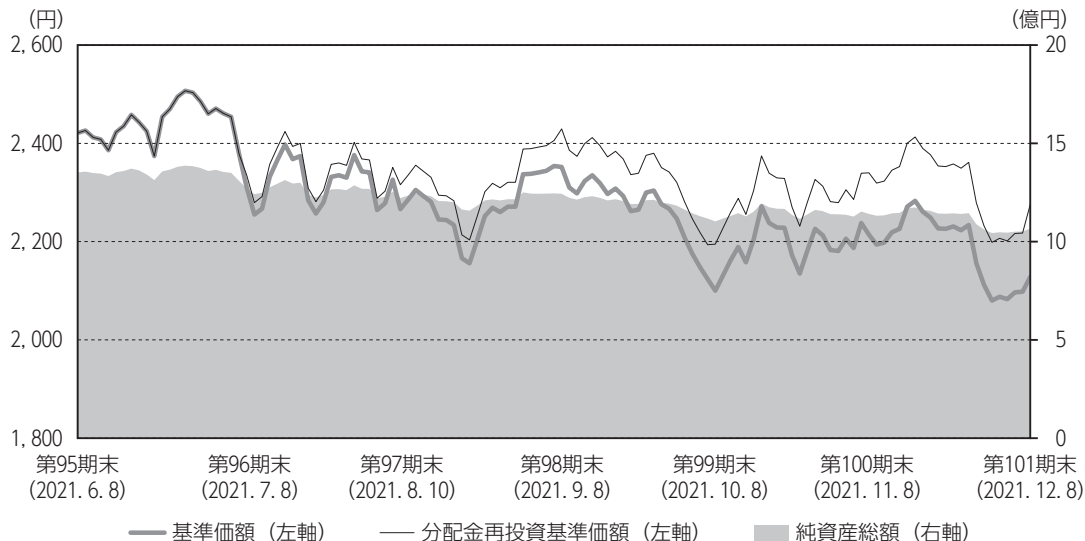
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります (分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります)。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第96期首：2,421円

第101期末：2,128円 (既払分配金150円)

騰落率：△6.0% (分配金再投資ベース)

基準価額の主な変動要因

日本の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略による運用と為替取引の結果、基準価額は下落しました。株式ポートフォリオ (配当込み) が上昇したことはプラス要因となりましたが、オプション取引についてはマイナス要因となりました。また為替取引 (日本円売り/ブラジル・リアル買い) は、プレミアム (金利差相当分の収益) がプラス要因となりましたが、ブラジル・リアルが対円で下落 (円高) したことはマイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		T O P I X		ブラジル・リアル 為 替 レ ー ト		公 社 債 組 入 比 率	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
		円	%	(参考指数)	騰落率	(参考指数)	騰落率		
第96期	(期首) 2021年 6 月 8 日	2,421	—	18,049	—	21,6869	—	—	98.0
	6 月 末	2,485	2.6	17,944	△ 0.6	22,3036	2.8	—	99.1
	(期末) 2021年 7 月 8 日	2,335	△ 3.6	17,836	△ 1.2	21,1296	△ 2.6	—	98.0
第97期	(期首) 2021年 7 月 8 日	2,310	—	17,836	—	21,1296	—	—	98.0
	7 月 末	2,376	2.9	17,741	△ 0.5	21,5465	2.0	—	99.6
	(期末) 2021年 8 月 10 日	2,291	△ 0.8	17,759	△ 0.4	21,0762	△ 0.3	—	99.0
第98期	(期首) 2021年 8 月 10 日	2,266	—	17,759	—	21,0762	—	—	99.0
	8 月 末	2,271	0.2	17,950	1.1	21,1927	0.6	—	98.1
	(期末) 2021年 9 月 8 日	2,377	4.9	18,993	6.9	21,3284	1.2	—	98.5
第99期	(期首) 2021年 9 月 8 日	2,352	—	18,993	—	21,3284	—	—	98.5
	9 月 末	2,267	△ 3.6	18,762	△ 1.2	20,6682	△ 3.1	—	99.0
	(期末) 2021年 10 月 8 日	2,125	△ 9.7	17,854	△ 6.0	20,2432	△ 5.1	—	98.1
第100期	(期首) 2021年 10 月 8 日	2,100	—	17,854	—	20,2432	—	—	98.1
	10 月 末	2,183	4.0	18,406	3.1	20,1435	△ 0.5	—	98.8
	(期末) 2021年 11 月 8 日	2,239	6.6	18,791	5.2	20,4947	1.2	—	99.2
第101期	(期首) 2021年 11 月 8 日	2,214	—	18,791	—	20,4947	—	—	99.2
	11 月 末	2,112	△ 4.6	17,935	△ 4.6	20,2885	△ 1.0	—	98.3
	(期末) 2021年 12 月 8 日	2,153	△ 2.8	18,316	△ 2.5	20,2399	△ 1.2	—	98.1

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2021. 6. 9 ～ 2021. 12. 8）

国内株式市況

国内株式市場は上昇しました。

国内株式市況は、当作成期首から横ばいで推移しましたが、2021年8月下旬には、国内の新型コロナウイルス感染状況が改善したことを受けて上昇に転じ、9月初めに菅首相の自民党総裁選挙への不出馬表明を受けて株価は一時急騰し、年初来高値を更新しました。しかしその後は、新政権への期待がやや後退したことや、中国の大手不動産会社の信用問題に対する懸念が高まったことなどから、株価は反落しました。10月末には、衆議院議員選挙で自民党が予想以上に議席数を伸ばし、単独で絶対安定多数を維持したことを好感して株価が上昇する局面もありましたが、当作成期末にかけては、新型コロナウイルスの新変異株への警戒感が広がったことなどから、株価は下落しました。

為替相場

ブラジル・リアルは対円で下落しました。

ブラジル・リアルの対円相場は、当作成期首から上昇（円安）して始まりましたが、2021年8月中旬にかけて世界的な新型コロナウイルス変異株の流行を受けて市場のリスク回避姿勢が強まったことから、対円で下落しました。8月下旬以降は、米国株式市場が堅調に推移したことから市場のリスク選好姿勢が強まり対円で上昇する局面もありましたが、インフレ率が市場予想を上振れたことなどを背景に、ブラジル・リアルは対円でおおむね横ばいとなりました。当作成期末にかけては、新変異株であるオミクロン株の感染拡大を受けて下落する流れとなりました。

短期金利市況

ブラジルの短期金利は、ブラジル中央銀行が政策金利を段階的に3.50%から7.75%に引き上げました。一方、日本の短期金利は、日銀が「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を維持し、低位で推移しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

当ファンド

今後も、クロッキーファンド（ブラジル・リアル・クラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、クロッキーファンド（ブラジル・リアル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

※クロッキーファンド（ブラジル・リアル・クラス）：オージェンタム・トラストークロッキー・ジャパン・ストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）

■クロッキーファンド (ブラジル・リアル・クラス)

1. 主として、担保付スワップ取引を通じて、割安と判断される日本の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築します。
 - ・投資対象銘柄は「TOP I X 100」構成銘柄から金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とします。
 - ・ドイツ銀行グループが独自に開発した株式分析手法「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される30銘柄を選定します。
 - ・選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。また、銘柄の見直しは約1カ月ごとに行います。
 - ・個別銘柄ごとに、コール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。
2. 為替取引を活用します。

日本円売り／ブラジル・リアル買いの為替取引を行います。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2021. 6. 9 ~ 2021. 12. 8)

■当ファンド

当ファンドは、クロッキーファンド (ブラジル・リアル・クラス) とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期は、クロッキーファンド (ブラジル・リアル・クラス) への投資割合を高位に維持することをめざしました。

■クロッキーファンド (ブラジル・リアル・クラス)

株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略のうち、クロッキーモデルによる銘柄選択効果がマイナスに働き、株式ポートフォリオ (配当除く) はTOP I X 指数 (配当除く) を下回るパフォーマンスとなりました。一方、オプション取引についてはマイナスとなりました。

円建ての資産に対して、日本円売り／ブラジル・リアル買いの為替取引を行いました。

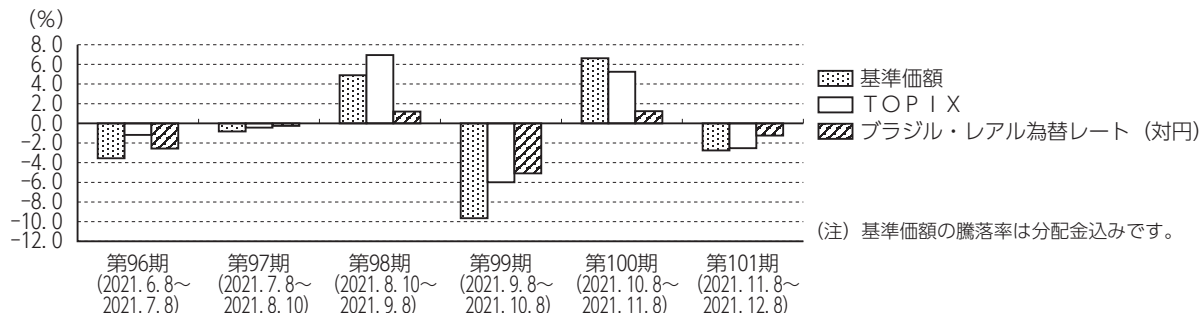
■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第96期 2021年6月9日 ～2021年7月8日	第97期 2021年7月9日 ～2021年8月10日	第98期 2021年8月11日 ～2021年9月8日	第99期 2021年9月9日 ～2021年10月8日	第100期 2021年10月9日 ～2021年11月8日	第101期 2021年11月9日 ～2021年12月8日
当期分配金(税込み) (円)	25	25	25	25	25	25
対基準価額比率 (%)	1.07	1.09	1.05	1.18	1.12	1.16
当期の収益 (円)	21	23	25	23	25	25
当期の収益以外 (円)	3	1	—	1	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	1,116	1,114	1,115	1,113	1,120	1,123

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 21.67円	✓ 23.34円	✓ 25.93円	✓ 23.37円	✓ 32.15円	✓ 28.03円
(b) 経費控除後の有価証券売却等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	1,048.05	1,048.22	1,048.35	1,048.48	1,049.00	1,049.14
(d) 分配準備積立金	✓ 71.26	✓ 67.79	66.00	✓ 66.80	64.67	71.69
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	1,141.00	1,139.35	1,140.29	1,138.67	1,145.83	1,148.88
(f) 分配金	25.00	25.00	25.00	25.00	25.00	25.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	1,116.00	1,114.35	1,115.29	1,113.67	1,120.83	1,123.88

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

今後も、クロッキーファンド（ブラジル・リアル・クラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、クロッキーファンド（ブラジル・リアル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■クロッキーファンド（ブラジル・リアル・クラス）

- 主として、担保付スワップ取引を通じて、割安と判断される日本の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築します。
 - 投資対象銘柄は「TOP 1 X 100」構成銘柄から金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とします。
 - ドイツ銀行グループが独自に開発した株式分析手法「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される30銘柄を選定します。
 - 選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。また、銘柄の見直しは約1カ月ごとに行います。
 - 個別銘柄ごとに、コール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。
- 為替取引を活用します。

日本円売り／ブラジル・リアル買いの為替取引を行います。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第96期～第101期 (2021. 6. 9～2021. 12. 8)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	17円	0.743%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は2,279円です。
(投 信 会 社)	(6)	(0.263)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(11)	(0.468)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(0)	(0.012)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.003	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	17	0.746	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

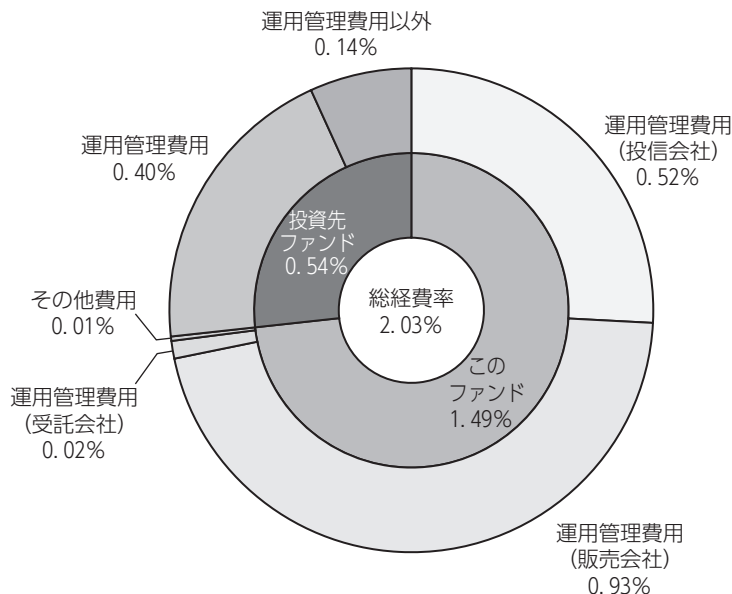
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.03%です。



総経費率（①＋②＋③）	2.03%
①このファンドの費用の比率	1.49%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.40%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.14%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2021年6月9日から2021年12月8日まで)

決算期	第 96 期 ~ 第 101 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	3,862.792701	89,020	9,214.186581	212,300

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2021年6月9日から2021年12月8日まで)

第 96 期 ~				第 101 期			
買 付				売 付			
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
				CROCI JAPAN STRATEGY FUND BRL CLASS (ケイマン諸島)	9,214.186581	212,300	23

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 101 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) CROCI JAPAN STRATEGY FUND BRL CLASS	47,420.012089	1,046,132	98.1

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第95期末	第 101 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	398	398	399

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2021年12月8日現在

項 目	第 101 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	1,046,132	96.7
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	399	0.0
コール・ローン等、その他	35,350	3.3
投資信託財産総額	1,081,882	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2021年7月8日)、(2021年8月10日)、(2021年9月8日)、(2021年10月8日)、(2021年11月8日)、(2021年12月8日)現在

項目	第96期末	第97期末	第98期末	第99期末	第100期末	第101期末
(A) 資産	1,287,176,348円	1,237,195,399円	1,263,501,672円	1,119,226,449円	1,155,589,051円	1,081,882,315円
コール・ローン等	42,085,206	26,515,469	38,853,566	37,339,697	23,624,518	35,350,386
投資信託受益証券 (評価額)	1,244,692,020	1,210,280,847	1,224,249,023	1,081,487,669	1,131,565,490	1,046,132,886
ダイワ・マネーストック・マザーファンド (評価額)	399,122	399,083	399,083	399,083	399,043	399,043
(B) 負債	16,710,695	15,200,543	20,075,085	16,633,591	14,975,158	15,421,413
未払収益分配金	13,747,150	13,484,193	13,218,380	13,128,485	12,878,702	12,527,442
未払解約金	1,291,007	—	5,389,103	2,002,959	608,934	1,473,231
未払信託報酬	1,663,350	1,697,786	1,441,077	1,467,512	1,444,906	1,370,551
その他未払費用	9,188	18,564	26,525	34,635	42,616	50,189
(C) 純資産総額 (A - B)	1,270,465,653	1,221,994,856	1,243,426,587	1,102,592,858	1,140,613,893	1,066,460,902
元本	5,498,860,358	5,393,677,376	5,287,352,094	5,251,394,032	5,151,480,838	5,010,976,864
次期繰越損益金	△ 4,228,394,705	△ 4,171,682,520	△ 4,043,925,507	△ 4,148,801,174	△ 4,010,866,945	△ 3,944,515,962
(D) 受益権総口数	5,498,860,358口	5,393,677,376口	5,287,352,094口	5,251,394,032口	5,151,480,838口	5,010,976,864口
1万口当り基準価額 (C/D)	2,310円	2,266円	2,352円	2,100円	2,214円	2,128円

*第95期末における元本額は5,583,957,309円、当作成期間 (第96期～第101期) 中における追加設定元本額は95,358,519円、同解約元本額は668,338,964円です。

*第101期末の計算口数当りの純資産額は2,128円です。

*第101期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は3,944,515,962円です。

■損益の状況

第96期 自 2021年6月9日 至 2021年7月8日 第98期 自 2021年8月11日 至 2021年9月8日 第100期 自 2021年10月9日 至 2021年11月8日
 第97期 自 2021年7月9日 至 2021年8月10日 第99期 自 2021年9月9日 至 2021年10月8日 第101期 自 2021年11月9日 至 2021年12月8日

項目	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期
(A) 配当等収益	13,591,413円	14,297,465円	14,048,520円	13,752,649円	16,903,034円	15,426,534円
受取配当金	13,591,886	14,298,369	14,048,821	13,752,990	16,903,671	15,426,998
受取利息	1	15	25	1	—	—
支払利息	△ 474	△ 919	△ 326	△ 342	△ 637	△ 464
(B) 有価証券売買損益	△ 59,121,766	△ 23,283,551	△ 46,134,196	△ 131,511,788	△ 56,100,064	△ 44,565,515
売買益	210,193	149,419	46,616,732	395,611	56,816,075	527,620
売買損	△ 59,331,959	△ 23,432,970	△ 482,536	△ 131,907,399	△ 716,011	△ 45,093,135
(C) 信託報酬等	△ 1,672,538	△ 1,707,162	△ 1,449,038	△ 1,475,622	△ 1,452,887	△ 1,378,124
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 47,202,891	△ 10,693,248	△ 58,733,678	△ 119,234,761	△ 71,550,211	△ 30,517,105
(E) 前期繰越損益金	△ 3,139,649,349	△ 3,132,359,220	△ 3,088,164,912	△ 3,016,182,877	△ 3,064,651,480	△ 2,918,259,265
(F) 追加信託差損益金	△ 1,027,795,315	△ 1,015,145,859	△ 1,001,275,893	△ 1,000,255,051	△ 1,004,886,974	△ 983,212,150
(配当等相当額)	(576,313,131)	(565,377,547)	(554,303,383)	(550,603,001)	(540,391,220)	(525,726,241)
(売買損益相当額)	(△ 1,604,108,446)	(△ 1,580,523,406)	(△ 1,555,579,276)	(△ 1,550,858,052)	(△ 1,545,278,194)	(△ 1,508,938,391)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 4,214,647,555	△ 4,158,198,327	△ 4,030,707,127	△ 4,135,672,689	△ 3,997,988,243	△ 3,931,988,520
(H) 収益分配金	△ 13,747,150	△ 13,484,193	△ 13,218,380	△ 13,128,485	△ 12,878,702	△ 12,527,442
次期繰越損益金 (G + H)	△ 4,228,394,705	△ 4,171,682,520	△ 4,043,925,507	△ 4,148,801,174	△ 4,010,866,945	△ 3,944,515,962
追加信託差損益金	△ 1,027,795,315	△ 1,015,145,859	△ 1,001,275,893	△ 1,000,255,051	△ 1,004,886,974	△ 983,212,150
(配当等相当額)	(576,313,131)	(565,377,547)	(554,303,383)	(550,603,001)	(540,391,220)	(525,726,241)
(売買損益相当額)	(△ 1,604,108,446)	(△ 1,580,523,406)	(△ 1,555,579,276)	(△ 1,550,858,052)	(△ 1,545,278,194)	(△ 1,508,938,391)
分配準備積立金	37,361,294	35,670,807	35,390,093	34,230,784	37,006,668	37,447,698
繰越損益金	△ 3,237,960,684	△ 3,192,207,468	△ 3,078,039,707	△ 3,182,776,907	△ 3,042,986,639	△ 2,998,751,510

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期
(a) 経費控除後の配当等収益	11,918,869円	12,590,290円	13,710,308円	12,277,021円	16,566,683円	14,048,401円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	576,313,131	565,377,547	554,303,383	550,603,001	540,391,220	525,726,241
(d) 分配準備積立金	39,189,575	36,564,710	34,898,165	35,082,248	33,318,687	35,926,739
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	627,421,575	614,532,547	602,911,856	597,962,270	590,276,590	575,701,381
(f) 分配金	13,747,150	13,484,193	13,218,380	13,128,485	12,878,702	12,527,442
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	613,674,425	601,048,354	589,693,476	584,833,785	577,397,888	563,173,939
(h) 受益権総口数	5,498,860,358口	5,393,677,376口	5,287,352,094口	5,251,394,032口	5,151,480,838口	5,010,976,864口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期
		25円	25円	25円	25円	25円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

米ドル・コース (毎月分配型)

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			TOPIX		米ドル為替レート		公社債比率	投資信託受益証券組入比率	純資産額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率			
	円	円	%		%	円	%	%	%	百万円
72期末(2019年7月8日)	9,129	60	5.6	14,659	3.9	108.54	0.0	—	98.4	3,164
73期末(2019年8月8日)	8,358	60	△ 7.8	13,806	△ 5.8	106.11	△ 2.2	—	98.3	2,808
74期末(2019年9月9日)	8,683	60	4.6	14,149	2.5	106.95	0.8	—	98.6	2,820
75期末(2019年10月8日)	8,687	60	0.7	14,477	2.3	107.39	0.4	—	98.8	2,759
76期末(2019年11月8日)	9,564	60	10.8	15,631	8.0	109.39	1.9	—	97.0	2,996
77期末(2019年12月9日)	9,495	60	△ 0.1	15,771	0.9	108.60	△ 0.7	—	97.1	2,941
78期末(2020年1月8日)	9,530	60	1.0	15,879	0.7	107.83	△ 0.7	—	97.9	2,850
79期末(2020年2月10日)	9,585	60	1.2	15,944	0.4	109.67	1.7	—	98.5	2,820
80期末(2020年3月9日)	7,872	60	△ 17.2	13,544	△ 15.0	102.01	△ 7.0	—	99.3	2,275
81期末(2020年4月8日)	7,680	60	△ 1.7	12,916	△ 4.6	108.67	6.5	—	99.0	2,172
82期末(2020年5月8日)	7,542	60	△ 1.0	13,133	1.7	106.36	△ 2.1	—	99.3	2,136
83期末(2020年6月8日)	8,591	60	14.7	14,842	13.0	109.48	2.9	—	99.5	2,403
84期末(2020年7月8日)	8,287	60	△ 2.8	14,467	△ 2.5	107.69	△ 1.6	—	99.0	2,278
85期末(2020年8月11日)	7,952	60	△ 3.3	14,237	△ 1.6	106.17	△ 1.4	—	98.2	2,116
86期末(2020年9月8日)	8,266	60	4.7	14,817	4.1	106.31	0.1	—	98.1	2,170
87期末(2020年10月8日)	8,193	60	△ 0.2	15,155	2.3	106.07	△ 0.2	—	99.1	2,147
88期末(2020年11月9日)	7,940	60	△ 2.4	15,266	0.7	103.35	△ 2.6	—	99.2	2,057
89期末(2020年12月8日)	8,294	60	5.2	16,207	6.2	104.09	0.7	—	99.2	2,109
90期末(2021年1月8日)	8,563	60	4.0	16,811	3.7	103.85	△ 0.2	—	98.0	2,069
91期末(2021年2月8日)	8,835	60	3.9	17,406	3.5	105.54	1.6	—	99.3	2,071
92期末(2021年3月8日)	8,934	60	1.8	17,454	0.3	108.37	2.7	—	99.6	2,062
93期末(2021年4月8日)	9,312	60	4.9	18,110	3.8	109.83	1.3	—	98.8	2,080
94期末(2021年5月10日)	9,053	60	△ 2.1	17,793	△ 1.7	108.77	△ 1.0	—	98.1	2,015
95期末(2021年6月8日)	9,199	60	2.3	18,049	1.4	109.45	0.6	—	99.0	2,008
96期末(2021年7月8日)	9,161	60	0.2	17,836	△ 1.2	110.58	1.0	—	98.7	1,977
97期末(2021年8月10日)	8,971	60	△ 1.4	17,759	△ 0.4	110.36	△ 0.2	—	98.1	1,924
98期末(2021年9月8日)	9,241	60	3.7	18,993	6.9	110.27	△ 0.1	—	98.1	1,813
99期末(2021年10月8日)	8,790	60	△ 4.2	17,854	△ 6.0	111.73	1.3	—	99.0	1,722
100期末(2021年11月8日)	9,343	60	7.0	18,791	5.2	113.62	1.7	—	98.9	1,814
101期末(2021年12月8日)	9,137	60	△ 1.6	18,316	△ 2.5	113.57	△ 0.0	—	98.7	1,731

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) TOPIXは、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。また、基準価額への反映を考慮して、1営業日前の日付の終値を採用しています。

(注3) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

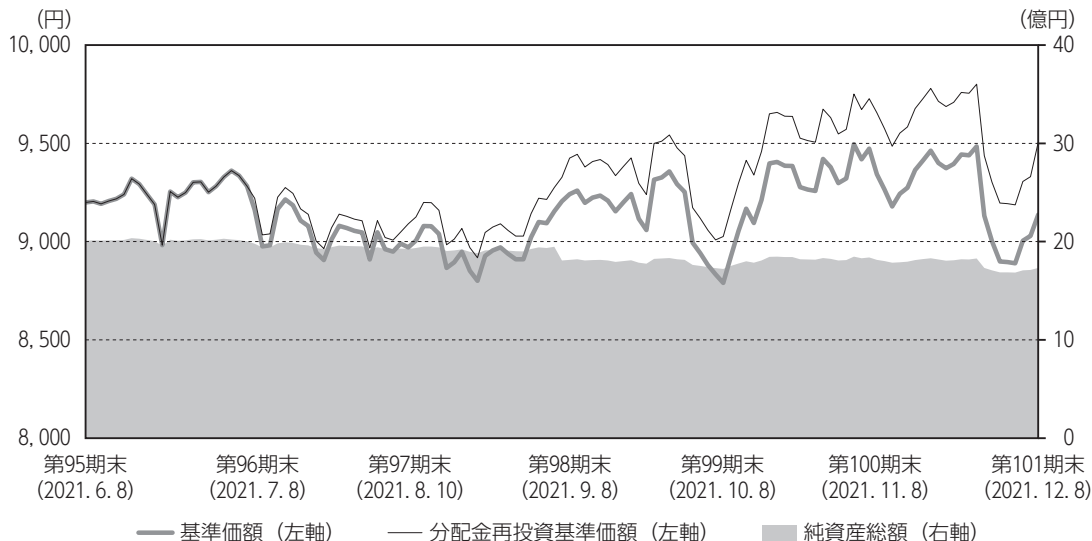
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

第96期首：9,199円

第101期末：9,137円（既払分配金360円）

騰落率：3.3%（分配金再投資ベース）

■ 基準価額の主な変動要因

日本の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略による運用と為替取引の結果、基準価額は上昇しました。株式ポートフォリオ（配当込み）が上昇したことはプラス要因となりましたが、オプション取引についてはマイナス要因となりました。また為替取引（日本円売り／米ドル買い）は、米ドルが対円で上昇（円安）したことやプレミアム（金利差相当分の収益）がプラス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 米ドル・コース (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		T O P I X		米ドル為替レート		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	騰落率 %	(参考指数)	騰落率 %	円	騰落率 %		
第96期	(期首) 2021年 6 月 8 日	9,199	—	18,049	—	109.45	—	—	99.0
	6 月末	9,252	0.6	17,944	△ 0.6	110.58	1.0	—	99.4
	(期末) 2021年 7 月 8 日	9,221	0.2	17,836	△ 1.2	110.58	1.0	—	98.7
第97期	(期首) 2021年 7 月 8 日	9,161	—	17,836	—	110.58	—	—	98.7
	7 月末	9,047	△ 1.2	17,741	△ 0.5	109.49	△ 1.0	—	98.8
	(期末) 2021年 8 月 10 日	9,031	△ 1.4	17,759	△ 0.4	110.36	△ 0.2	—	98.1
第98期	(期首) 2021年 8 月 10 日	8,971	—	17,759	—	110.36	—	—	98.1
	8 月末	8,910	△ 0.7	17,950	1.1	109.90	△ 0.4	—	98.7
	(期末) 2021年 9 月 8 日	9,301	3.7	18,993	6.9	110.27	△ 0.1	—	98.1
第99期	(期首) 2021年 9 月 8 日	9,241	—	18,993	—	110.27	—	—	98.1
	9 月末	9,293	0.6	18,762	△ 1.2	111.92	1.5	—	98.3
	(期末) 2021年 10 月 8 日	8,850	△ 4.2	17,854	△ 6.0	111.73	1.3	—	99.0
第100期	(期首) 2021年 10 月 8 日	8,790	—	17,854	—	111.73	—	—	99.0
	10 月末	9,298	5.8	18,406	3.1	113.67	1.7	—	98.0
	(期末) 2021年 11 月 8 日	9,403	7.0	18,791	5.2	113.62	1.7	—	98.9
第101期	(期首) 2021年 11 月 8 日	9,343	—	18,791	—	113.62	—	—	98.9
	11 月末	9,002	△ 3.6	17,935	△ 4.6	113.77	0.1	—	97.9
	(期末) 2021年 12 月 8 日	9,197	△ 1.6	18,316	△ 2.5	113.57	△ 0.0	—	98.7

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2021. 6. 9 ～ 2021. 12. 8）

国内株式市況

国内株式市場は上昇しました。

国内株式市況は、当作成期首から横ばいで推移しましたが、2021年8月下旬には、国内の新型コロナウイルス感染状況が改善したことを受けて上昇に転じ、9月初めに菅首相の自民党総裁選挙への不出馬表明を受けて株価は一時急騰し、年初来高値を更新しました。しかしその後は、新政権への期待がやや後退したことや、中国の大手不動産会社の信用問題に対する懸念が高まったことなどから、株価は反落しました。10月末には、衆議院議員選挙で自民党が予想以上に議席数を伸ばし、単独で絶対安定多数を維持したことを好感して株価が上昇する局面もありましたが、当作成期末にかけては、新型コロナウイルスの新変異株への警戒感が広がったことなどから、株価は下落しました。

為替相場

米ドル為替相場は、当作成期を通して見ると対円で上昇しました。

米ドルの対円為替相場は、当作成期首よりおおむねレンジ内で推移しましたが、2021年9月には、利上げ観測の高まりなどから上昇しました。10月以降も、日米金融政策の方向性の違いが米ドルの上昇要因となりました。

短期金利市況

米国の短期金利は、F R B（米国連邦準備制度理事会）がF O M C（米国連邦公開市場委員会）で政策金利の誘導目標レンジを0.00～0.25%に据え置きました。一方、日本の短期金利は、日銀が「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を維持し、低位で推移しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

当ファンド

今後も、クロッキーファンド（米ドル・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、クロッキーファンド（米ドル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

※クロッキーファンド（米ドル・クラス）：オージェンタム・トラスト・クロッキー・ジャパン・ストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）

■クロッキーファンド (米ドル・クラス)

1. 主として、担保付スワップ取引を通じて、割安と判断される日本の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築します。
 - ・投資対象銘柄は「TOP I X 100」構成銘柄から金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とします。
 - ・ドイツ銀行グループが独自に開発した株式分析手法「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される30銘柄を選定します。
 - ・選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。また、銘柄の見直しは約1カ月ごとに行います。
 - ・個別銘柄ごとに、コール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。
2. 為替取引を活用します。

日本円売り／米ドル買いの為替取引を行います。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2021. 6. 9 ~ 2021. 12. 8)

■当ファンド

当ファンドは、クロッキーファンド (米ドル・クラス) とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期は、クロッキーファンド (米ドル・クラス) への投資割合を高位に維持することをめざしました。

■クロッキーファンド (米ドル・クラス)

株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略のうち、クロッキーモデルによる銘柄選択効果がマイナスに働き、株式ポートフォリオ (配当除く) はTOP I X 指数 (配当除く) を下回るパフォーマンスとなりました。一方、オプション取引についてはマイナスとなりました。

円建ての資産に対して、日本円売り／米ドル買いの為替取引を行いました。

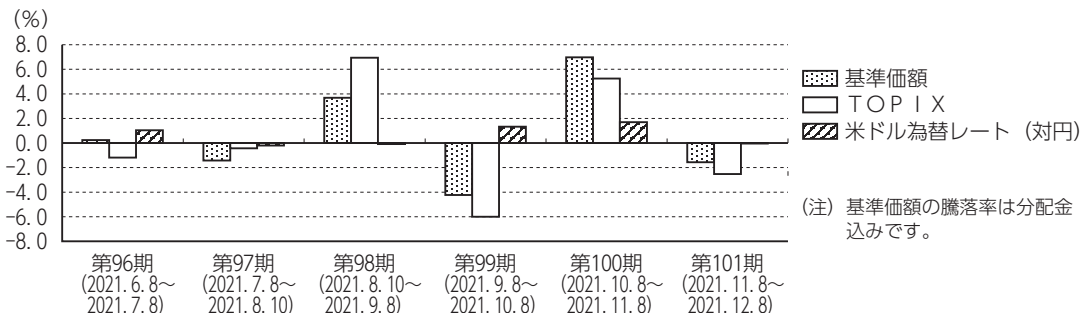
■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期
	2021年6月9日 ～2021年7月8日	2021年7月9日 ～2021年8月10日	2021年8月11日 ～2021年9月8日	2021年9月9日 ～2021年10月8日	2021年10月9日 ～2021年11月8日	2021年11月9日 ～2021年12月8日
当期分配金(税込み) (円)	60	60	60	60	60	60
対基準価額比率 (%)	0.65	0.66	0.65	0.68	0.64	0.65
当期の収益 (円)	60	60	60	60	60	60
当期の収益以外 (円)	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	5,976	5,979	5,993	5,994	6,026	6,033

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項目	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 63.25円	✓ 62.71円	✓ 74.12円	✓ 61.09円	✓ 92.31円	✓ 66.97円
(b) 経費控除後の有価証券売却等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	2,080.78	2,087.10	2,093.61	2,101.45	2,108.86	2,115.78
(d) 分配準備積立金	3,892.56	3,889.49	3,885.70	3,891.98	3,885.68	3,911.08
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	6,036.59	6,039.31	6,053.43	6,054.53	6,086.86	6,093.83
(f) 分配金	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	5,976.59	5,979.31	5,993.43	5,994.53	6,026.86	6,033.83

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

今後も、クロッキーファンド（米ドル・クラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、クロッキーファンド（米ドル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■クロッキーファンド（米ドル・クラス）

- 主として、担保付スワップ取引を通じて、割安と判断される日本の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築します。
 - 投資対象銘柄は「TOP 1 X 100」構成銘柄から金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とします。
 - ドイツ銀行グループが独自に開発した株式分析手法「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される30銘柄を選定します。
 - 選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。また、銘柄の見直しは約1カ月ごとに行います。
 - 個別銘柄ごとに、コール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。
- 為替取引を活用します。

日本円売り／米ドル買いの為替取引を行います。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第96期～第101期 (2021. 6. 9～2021. 12. 8)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	68円	0.746%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は9,158円です。
(投 信 会 社)	(24)	(0.264)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(43)	(0.468)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	69	0.750	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

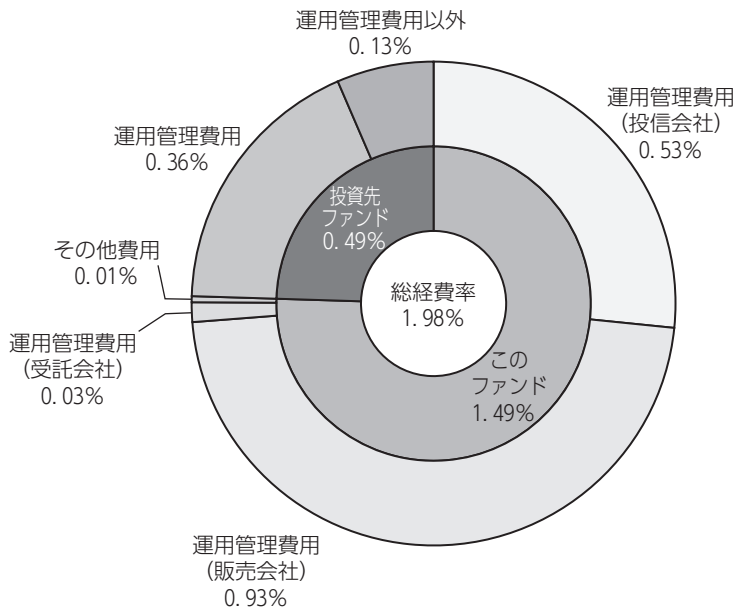
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.98%です。



総経費率（①＋②＋③）	1.98%
①このファンドの費用の比率	1.49%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.36%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.13%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2021年6月9日から2021年12月8日まで)

決算期	第 96 期 ~ 第 101 期			
	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
外国 (邦貨建)	千口 1,345.990068	千円 96,484	千口 4,861.599665	千円 352,600

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2021年6月9日から2021年12月8日まで)

銘 柄	第 96 期 ~			第 101 期		
	買 付			売 付		
	口 数	金 額	平均単価	口 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円	千口	千円	円
CROCI JAPAN STRATEGY FUND USD CLASS (ケイマン諸島)	4,861.599665	352,600	72			

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 101 期 末		
	口 数	評価額	比 率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) CROCI JAPAN STRATEGY FUND USD CLASS	千口 23,630.297728	千円 1,709,132	% 98.7

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第95期末	第 101 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	千口 398	千口 398	千円 399

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2021年12月8日現在

項 目	第 101 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 1,709,132	% 97.9
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	399	0.0
コール・ローン等、その他	36,664	2.1
投資信託財産総額	1,746,195	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 米ドル・コース (毎月分配型)

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2021年7月8日)、(2021年8月10日)、(2021年9月8日)、(2021年10月8日)、(2021年11月8日)、(2021年12月8日)現在

項目	第96期末	第97期末	第98期末	第99期末	第100期末	第101期末
(A) 資産	1,993,087,152円	1,942,588,212円	2,156,000,932円	1,736,728,085円	1,831,676,343円	1,746,195,618円
コール・ローン等	41,325,248	54,745,256	20,601,185	31,540,360	36,781,636	36,664,401
投資信託受益証券 (評価額)	1,951,362,782	1,887,443,873	1,779,200,665	1,704,788,642	1,794,495,664	1,709,132,174
ダイワ・マネーストック・マザーファンド (評価額)	399,122	399,083	399,083	399,083	399,043	399,043
未収入金	—	—	355,799,999	—	—	—
(B) 負債	15,438,390	18,463,256	342,180,766	14,014,561	17,309,392	14,339,546
未払金	—	—	177,900,000	—	—	—
未払収益分配金	12,952,839	12,869,506	11,776,833	11,758,902	11,651,818	11,372,987
未払解約金	2,792	2,943,380	150,192,414	—	3,300,060	711,692
未払信託報酬	2,469,105	2,622,219	2,270,816	2,202,780	2,291,968	2,177,282
その他未払費用	13,654	28,151	40,703	52,879	65,546	77,585
(C) 純資産総額 (A - B)	1,977,648,762	1,924,124,956	1,813,820,166	1,722,713,524	1,814,366,951	1,731,856,072
元本	2,158,806,606	2,144,917,732	1,962,805,593	1,959,817,159	1,941,969,793	1,895,497,998
次期繰越損益金	△ 181,157,844	△ 220,792,776	△ 148,985,427	△ 237,103,635	△ 127,602,842	△ 163,641,926
(D) 受益権総口数	2,158,806,606口	2,144,917,732口	1,962,805,593口	1,959,817,159口	1,941,969,793口	1,895,497,998口
1万口当り基準価額 (C/D)	9,161円	8,971円	9,241円	8,790円	9,343円	9,137円

* 第95期末における元本額は2,183,495,804円、当作成期間 (第96期～第101期) 中における追加設定元本額は22,060,828円、同解約元本額は310,058,634円です。

* 第101期末の計算口数当りの純資産額は9,137円です。

* 第101期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は163,641,926円です。

■損益の状況

第96期 自 2021年6月9日 至 2021年7月8日 第98期 自 2021年8月11日 至 2021年9月8日 第100期 自 2021年10月9日 至 2021年11月8日

第97期 自 2021年7月9日 至 2021年8月10日 第99期 自 2021年9月9日 至 2021年10月8日 第101期 自 2021年11月9日 至 2021年12月8日

項目	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期
(A) 配当等収益	16,138,313円	16,088,631円	15,060,862円	14,188,210円	18,275,576円	14,884,156円
受取配当金	16,138,843	16,089,858	15,061,947	14,188,958	18,276,386	14,885,040
受取利息	—	42	30	2	—	1
支払利息	△ 530	△ 1,269	△ 1,115	△ 750	△ 810	△ 885
(B) 有価証券売買損益	△ 8,894,873	△ 41,380,648	52,059,791	△ 88,557,154	103,009,590	△ 40,412,584
売買益	463,564	396,220	53,537,074	22,905	103,845,550	189,652
売買損	△ 9,358,437	△ 41,776,868	△ 1,477,283	△ 88,580,059	△ 835,960	△ 40,602,236
(C) 信託報酬等	△ 2,482,759	△ 2,636,716	△ 2,283,368	△ 2,214,956	△ 2,304,635	△ 2,189,321
(D) 当期損益金 (A + B + C)	4,760,681	△ 27,928,733	64,837,285	△ 76,583,900	118,980,531	△ 27,717,749
(E) 前期繰越損益金	△ 325,431,440	△ 330,939,391	△ 339,606,613	△ 285,534,992	△ 369,769,044	△ 255,707,767
(F) 追加信託差損益金	152,465,754	150,944,854	137,560,734	136,774,159	134,837,489	131,156,577
(配当等相当額)	(449,200,168)	(447,666,753)	(410,936,442)	(411,847,475)	(409,534,261)	(401,046,149)
(売買損益相当額)	(△ 296,734,414)	(△ 296,721,899)	(△ 273,375,708)	(△ 275,073,316)	(△ 274,696,772)	(△ 269,889,572)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 168,205,005	△ 207,923,270	△ 137,208,594	△ 225,344,733	△ 115,951,024	△ 152,268,939
(H) 収益分配金	△ 12,952,839	△ 12,869,506	△ 11,776,833	△ 11,758,902	△ 11,651,818	△ 11,372,987
次期繰越損益金 (G + H)	△ 181,157,844	△ 220,792,776	△ 148,985,427	△ 237,103,635	△ 127,602,842	△ 163,641,926
追加信託差損益金	152,465,754	150,944,854	137,560,734	136,774,159	134,837,489	131,156,577
(配当等相当額)	(449,200,168)	(447,666,753)	(410,936,442)	(411,847,475)	(409,534,261)	(401,046,149)
(売買損益相当額)	(△ 296,734,414)	(△ 296,721,899)	(△ 273,375,708)	(△ 275,073,316)	(△ 274,696,772)	(△ 269,889,572)
分配準備積立金	841,031,305	834,847,093	765,459,004	762,972,185	760,863,902	742,666,768
繰越損益金	△ 1,174,654,903	△ 1,206,584,723	△ 1,052,005,165	△ 1,136,849,979	△ 1,023,304,233	△ 1,037,465,271

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいひ、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期
(a) 経費控除後の配当等収益	13,655,548円	13,451,902円	14,548,467円	11,973,248円	17,928,260円	12,694,826円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	449,200,168	447,666,753	410,936,442	411,847,475	409,534,261	401,046,149
(d) 分配準備積立金	840,328,596	834,264,697	762,687,370	762,757,839	754,587,460	741,344,929
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	1,303,184,312	1,295,383,352	1,188,172,279	1,186,578,562	1,182,049,981	1,155,085,904
(f) 分配金	12,952,839	12,869,506	11,776,833	11,758,902	11,651,818	11,372,987
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	1,290,231,473	1,282,513,846	1,176,395,446	1,174,819,660	1,170,398,163	1,143,712,917
(h) 受益権総口数	2,158,806,606□	2,144,917,732□	1,962,805,593□	1,959,817,159□	1,941,969,793□	1,895,497,998□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期
	60円	60円	60円	60円	60円	60円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

通貨セレクト・コース (毎月分配型)

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			T O P I X		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
72期末(2019年7月8日)	3,303	40	8.1	14,659	3.9	—	98.6	3,403
73期末(2019年8月8日)	2,972	40	△ 8.8	13,806	△ 5.8	—	98.5	3,005
74期末(2019年9月9日)	3,056	40	4.2	14,149	2.5	—	98.7	3,014
75期末(2019年10月8日)	3,044	40	0.9	14,477	2.3	—	98.4	2,826
76期末(2019年11月8日)	3,373	40	12.1	15,631	8.0	—	96.9	3,047
77期末(2019年12月9日)	3,324	40	△ 0.3	15,771	0.9	—	97.6	2,900
78期末(2020年1月8日)	3,332	40	1.4	15,879	0.7	—	97.4	2,848
79期末(2020年2月10日)	3,326	40	1.0	15,944	0.4	—	99.4	2,824
80期末(2020年3月9日)	2,619	40	△ 20.1	13,544	△ 15.0	—	99.7	2,188
81期末(2020年4月8日)	2,302	40	△ 10.6	12,916	△ 4.6	—	98.2	1,894
82期末(2020年5月8日)	2,227	40	△ 1.5	13,133	1.7	—	99.4	1,835
83期末(2020年6月8日)	2,668	40	21.6	14,842	13.0	—	99.1	2,201
84期末(2020年7月8日)	2,514	40	△ 4.3	14,467	△ 2.5	—	98.7	2,035
85期末(2020年8月11日)	2,333	40	△ 5.6	14,237	△ 1.6	—	98.1	1,863
86期末(2020年9月8日)	2,414	40	5.2	14,817	4.1	—	98.0	1,887
87期末(2020年10月8日)	2,336	40	△ 1.6	15,155	2.3	—	98.0	1,797
88期末(2020年11月9日)	2,250	40	△ 2.0	15,266	0.7	—	98.1	1,713
89期末(2020年12月8日)	2,405	40	8.7	16,207	6.2	—	98.3	1,807
90期末(2021年1月8日)	2,515	40	6.2	16,811	3.7	—	98.2	1,878
91期末(2021年2月8日)	2,596	40	4.8	17,406	3.5	—	98.6	1,907
92期末(2021年3月8日)	2,531	40	△ 1.0	17,454	0.3	—	98.1	1,840
93期末(2021年4月8日)	2,572	40	3.2	18,110	3.8	—	98.0	1,810
94期末(2021年5月10日)	2,525	40	△ 0.3	17,793	△ 1.7	—	98.1	1,748
95期末(2021年6月8日)	2,559	40	2.9	18,049	1.4	—	98.6	1,740
96期末(2021年7月8日)	2,493	40	△ 1.0	17,836	△ 1.2	—	98.0	1,683
97期末(2021年8月10日)	2,451	40	△ 0.1	17,759	△ 0.4	—	98.0	1,573
98期末(2021年9月8日)	2,542	40	5.3	18,993	6.9	—	98.5	1,614
99期末(2021年10月8日)	2,355	40	△ 5.8	17,854	△ 6.0	—	98.0	1,471
100期末(2021年11月8日)	2,444	30	5.1	18,791	5.2	—	99.5	1,497
101期末(2021年12月8日)	2,169	30	△ 10.0	18,316	△ 2.5	—	98.2	1,312

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) T O P I Xは、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。また、基準価額への反映を考慮して、1営業日前の日付の終値を採用しています。

(注3) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

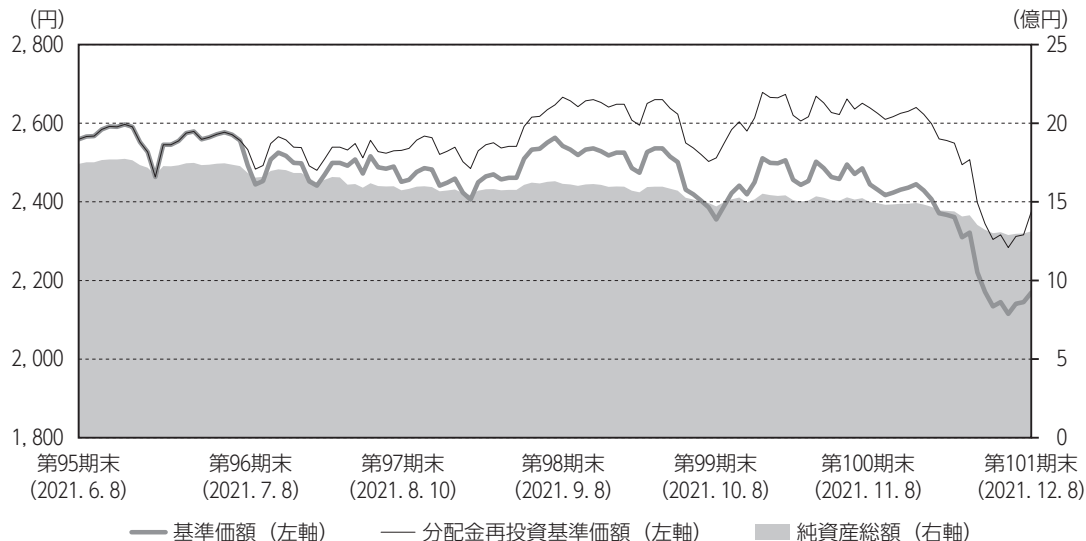
(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第96期首：2,559円

第101期末：2,169円（既払分配金220円）

騰落率：△7.2%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

日本の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略による運用と為替取引の結果、基準価額は下落しました。株式ポートフォリオ（配当込み）が上昇したことがプラス要因となりましたが、オプション取引についてはマイナス要因となりました。また為替取引（日本円売り／選定通貨（※）買い）は、プレミアム（金利差相当分の収益）はプラス要因となりましたが、一部の選定通貨が対円で大きく下落（円高）したことはマイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※選定通貨とは、通貨の選定方針により、為替取引の対象通貨として選定された通貨をいいます。

ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 通貨セレクト・コース (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		T O P I X		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
第96期	(期首) 2021年 6 月 8 日	円 2,559	% —	18,049	% —	% —	% 98.6
	6 月末	2,559	0.0	17,944	△ 0.6	—	99.2
	(期末) 2021年 7 月 8 日	2,533	△ 1.0	17,836	△ 1.2	—	98.0
第97期	(期首) 2021年 7 月 8 日	2,493	—	17,836	—	—	98.0
	7 月末	2,508	0.6	17,741	△ 0.5	—	98.0
	(期末) 2021年 8 月 10 日	2,491	△ 0.1	17,759	△ 0.4	—	98.0
第98期	(期首) 2021年 8 月 10 日	2,451	—	17,759	—	—	98.0
	8 月末	2,461	0.4	17,950	1.1	—	98.3
	(期末) 2021年 9 月 8 日	2,582	5.3	18,993	6.9	—	98.5
第99期	(期首) 2021年 9 月 8 日	2,542	—	18,993	—	—	98.5
	9 月末	2,515	△ 1.1	18,762	△ 1.2	—	99.4
	(期末) 2021年 10 月 8 日	2,395	△ 5.8	17,854	△ 6.0	—	98.0
第100期	(期首) 2021年 10 月 8 日	2,355	—	17,854	—	—	98.0
	10 月末	2,463	4.6	18,406	3.1	—	98.1
	(期末) 2021年 11 月 8 日	2,474	5.1	18,791	5.2	—	99.5
第101期	(期首) 2021年 11 月 8 日	2,444	—	18,791	—	—	99.5
	11 月末	2,171	△ 11.2	17,935	△ 4.6	—	98.1
	(期末) 2021年 12 月 8 日	2,199	△ 10.0	18,316	△ 2.5	—	98.2

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2021. 6. 9 ～ 2021. 12. 8）

国内株式市況

国内株式市場は上昇しました。

国内株式市況は、当作成期首から横ばいで推移しましたが、2021年8月下旬には、国内の新型コロナウイルス感染状況が改善したことを受けて上昇に転じ、9月初めに菅首相の自民党総裁選挙への不出馬表明を受けて株価は一時急騰し、年初来高値を更新しました。しかしその後は、新政権への期待がやや後退したことや、中国の大手不動産会社の信用問題に対する懸念が高まったことなどから、株価は反落しました。10月末には、衆議院議員選挙で自民党が予想以上に議席数を伸ばし、単独で絶対安定多数を維持したことを好感して株価が上昇する局面もありましたが、当作成期末にかけては、新型コロナウイルスの新変異株への警戒感が広がったことなどから、株価は下落しました。

為替相場

選定通貨は対円でまちまちな動きとなりました。

当作成期においての選定通貨の値動きは、先進国を中心に株価が堅調に推移するなど市場のリスク選好度が強まったことで、インドネシア・ルピア、ロシア・ルーブル、中国・人民元は対円で上昇（円安）しました。また、インド・ルピーは対円でおおむね横ばいとなりました。一方で、メキシコ・ペソ、トルコ・リラ、ブラジル・レアルは対円で下落しました。特にトルコ・リラの下落は顕著となりました。

短期金利市況

選定通貨の短期金利は、高い経済成長率やインフレ率を背景に日本円の短期金利をおおむね上回って推移しました。日本の短期金利は、日銀が「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を維持し、低位で推移しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

今後も、クロッキーファンド（通貨セレクト・クラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、クロッキーファンド（通貨セレクト・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

※クロッキーファンド（通貨セレクト・クラス）：オージェンタム・トラストクロッキー・ジャパン・ストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）

■クロッキーファンド（通貨セレクト・クラス）

1. 主として、担保付スワップ取引を通じて、割安と判断される日本の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築します。
 - ・投資対象銘柄は「TOP 1 X 100」構成銘柄から金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とします。
 - ・ドイツ銀行グループが独自に開発した株式分析手法「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される30銘柄を選定します。
 - ・選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。また、銘柄の見直しは約1カ月ごとに行います。
 - ・個別銘柄ごとに、コール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。
2. 為替取引を活用します。
 - ・日本円売り／選定通貨買いの為替取引を行います。
 - ・大和アセットマネジメント株式会社が通貨の選定および配分比率について助言を行います。

[通貨の運用方針]

- ・原則として、「FTSE世界国債インデックス」および「JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット ブロード」の構成国の通貨の中から、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を考慮し、6つの通貨を選定します。

※上記指数構成国の通貨以外の通貨を選定する場合があります。

- ・選定通貨の投資比率は、金利水準、リスク水準等を考慮して決定します。
- ・選定通貨および投資比率は、原則、毎月見直します。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

（2021. 6. 9～2021. 12. 8）

■当ファンド

当ファンドは、クロッキーファンド（通貨セレクト・クラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期は、クロッキーファンド（通貨セレクト・クラス）への投資割合を高位に維持することをめざしました。

■クロッキーファンド（通貨セレクト・クラス）

株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略のうち、クロッキーモデルによる銘柄選択効果がマイナスに働き、株式ポートフォリオ（配当除く）はTOPIX指数（配当除く）を下回るパフォーマンスとなりました。一方、オプション取引についてはマイナスとなりました。

選定通貨においては、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を勘案し、中長期的な視点から安定したキャリー（利息）収益が享受できる通貨を毎月6通貨選定し、円建ての資産に対して、日本円売り／選定通貨買いの為替取引を行いました。また、取引対象通貨合計の比率は、原資産に対しておおむね100%を維持しました。

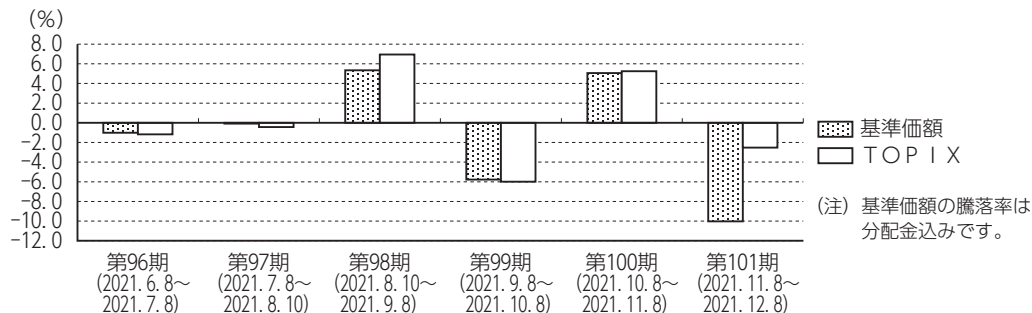
■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金(税込み)は下記「分配原資の内訳(1万口当り)」の「当期分配金(税込み)」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程(1万口当り)」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳(1万口当り)

項 目	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期
	2021年6月9日 ~2021年7月8日	2021年7月9日 ~2021年8月10日	2021年8月11日 ~2021年9月8日	2021年9月9日 ~2021年10月8日	2021年10月9日 ~2021年11月8日	2021年11月9日 ~2021年12月8日
当期分配金(税込み)(円)	40	40	40	40	30	30
対基準価額比率(%)	1.58	1.61	1.55	1.67	1.21	1.36
当期の収益(円)	33	31	36	34	30	30
当期の収益以外(円)	6	8	3	5	—	—
翌期繰越分配対象額(円)	645	636	633	627	638	645

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

収益分配金の計算過程(1万口当り)

項 目	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 33.54円	✓ 31.55円	✓ 36.90円	✓ 34.33円	✓ 40.95円	✓ 37.01円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	333.83	335.41	336.70	338.01	339.32	340.36
(d) 分配準備積立金	✓ 317.76	✓ 309.74	✓ 300.02	✓ 295.64	288.67	298.60
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	685.14	676.71	673.63	667.98	668.95	675.98
(f) 分配金	40.00	40.00	40.00	40.00	30.00	30.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	645.14	636.71	633.63	627.98	638.95	645.98

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

今後も、クロッキーファンド（通貨セレクト・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、クロッキーファンド（通貨セレクト・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■クロッキーファンド（通貨セレクト・クラス）

1. 主として、担保付スワップ取引を通じて、割安と判断される日本の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築します。
 - ・投資対象銘柄は「TOP 1 X 100」構成銘柄から金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とします。
 - ・ドイツ銀行グループが独自に開発した株式分析手法「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される30銘柄を選定します。
 - ・選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。また、銘柄の見直しは約1カ月ごとに行います。
 - ・個別銘柄ごとに、コール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。
2. 為替取引を活用します。
 - ・日本円売り／選定通貨買いの為替取引を行います。
 - ・大和アセットマネジメント株式会社が通貨の選定および配分比率について助言を行います。

[通貨の運用方針]

- ・原則として、「F T S E 世界国債インデックス」および「J P モルガン ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット ブロード」の構成国の通貨の中から、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を考慮し、6つの通貨を選定します。

※上記指数構成国の通貨以外の通貨を選定する場合があります。

- ・選定通貨の投資比率は、金利水準、リスク水準等を考慮して決定します。
- ・選定通貨および投資比率は、原則、毎月見直します。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第96期～第101期 (2021. 6. 9～2021. 12. 8)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	18円	0.745%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は2,464円です。
（投 信 会 社）	(7)	(0.264)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(12)	(0.468)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(0)	(0.013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.002	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	18	0.747	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

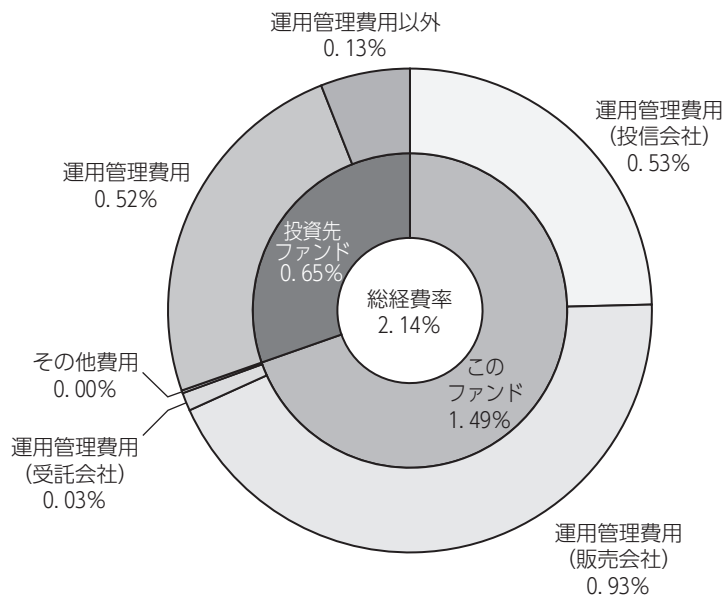
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.14%です。



総経費率（①＋②＋③）	2.14%
①このファンドの費用の比率	1.49%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.52%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.13%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況

(1) 投資信託受益証券

(2021年6月9日から2021年12月8日まで)

決算期	第 96 期 ~ 第 101 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	5,872.918201	146,201	13,382.948594	336,300

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2021年6月9日から2021年12月8日まで)

決算期	第 96 期 ~ 第 101 期			
	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	—	—	1,978	1,980

(注) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2021年6月9日から2021年12月8日まで)

第 96 期 ~				第 101 期			
買 付		売 付		買 付		売 付	
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
				CROCI JAPAN STRATEGY FUND CURRENCY SELECTION CLASS (ケイマン諸島)	13,382.948594	336,300	25

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 101 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) CROCI JAPAN STRATEGY FUND CURRENCY SELECTION CLASS	57,597.997079	1,288,927	98.2

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第95期末	第 101 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	1,993	15	15

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2021年12月8日現在

項 目	第 101 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	1,288,927	96.1
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	15	0.0
コール・ローン等、その他	52,363	3.9
投資信託財産総額	1,341,306	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2021年7月8日)、(2021年8月10日)、(2021年9月8日)、(2021年10月8日)、(2021年11月8日)、(2021年12月8日)現在

項目	第96期末	第97期末	第98期末	第99期末	第100期末	第101期末
(A) 資産	1,717,005,321円	1,634,456,690円	1,649,330,160円	1,529,504,486円	1,518,222,159円	1,341,306,582円
コール・ローン等	65,201,121	31,097,759	56,607,908	31,500,657	28,752,992	52,363,192
投資信託受益証券 (評価額)	1,649,808,586	1,542,363,517	1,590,726,837	1,441,608,415	1,489,453,755	1,288,927,978
ダイワ・マネーストック・マザーファンド (評価額)	1,995,614	1,995,415	1,995,415	15,414	15,412	15,412
未収入金	—	58,999,999	—	56,380,000	—	—
(B) 負債	33,478,956	60,576,689	35,008,422	58,213,047	20,626,747	29,162,582
未払金	—	29,500,000	—	27,200,000	—	—
未払収益分配金	27,017,215	25,683,427	25,402,070	24,985,303	18,380,757	18,148,967
未払解約金	4,316,108	3,159,827	7,692,934	4,047,673	272,924	9,216,699
未払信託報酬	2,133,839	2,209,429	1,879,027	1,934,984	1,917,381	1,731,660
その他未払費用	11,794	24,006	34,391	45,087	55,685	65,256
(C) 純資産総額 (A - B)	1,683,526,365	1,573,880,001	1,614,321,738	1,471,291,439	1,497,595,412	1,312,144,000
元本	6,754,303,939	6,420,856,958	6,350,517,582	6,246,325,906	6,126,919,048	6,049,655,723
次期繰越損益金	△ 5,070,777,574	△ 4,846,976,957	△ 4,736,195,844	△ 4,775,034,467	△ 4,629,323,636	△ 4,737,511,723
(D) 受益権総口数	6,754,303,939口	6,420,856,958口	6,350,517,582口	6,246,325,906口	6,126,919,048口	6,049,655,723口
1万口当り基準価額 (C/D)	2,493円	2,451円	2,542円	2,355円	2,444円	2,169円

*第95期末における元本額は6,802,121,267円、当作成期間(第96期~第101期)中における追加設定元本額は180,005,744円、同解約元本額は932,471,288円です。

*第101期末の計算口数当りの純資産額は2,169円です。

*第101期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は4,737,511,723円です。

■損益の状況

第96期 自 2021年6月9日 至 2021年7月8日 第98期 自 2021年8月11日 至 2021年9月8日 第100期 自 2021年10月9日 至 2021年11月8日
 第97期 自 2021年7月9日 至 2021年8月10日 第99期 自 2021年9月9日 至 2021年10月8日 第101期 自 2021年11月9日 至 2021年12月8日

項目	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期
(A) 配当等収益	24,804,890円	22,483,335円	23,972,059円	23,391,144円	25,759,212円	24,135,030円
受取配当金	24,805,488	22,484,742	23,972,959	23,391,562	25,759,987	24,135,934
受取利息	2	74	26	—	3	—
支払利息	△ 600	△ 1,481	△ 926	△ 418	△ 778	△ 904
(B) 有価証券売買損益	△ 40,669,758	△ 21,103,643	60,991,535	△ 112,971,881	48,943,356	△ 170,750,407
売買益	132,763	1,046,523	61,317,218	905,472	50,182,396	1,722,025
売買損	△ 40,802,521	△ 22,150,166	△ 325,683	△ 113,877,353	△ 1,239,040	△ 172,472,432
(C) 信託報酬等	△ 2,145,633	△ 2,221,641	△ 1,889,412	△ 1,945,680	△ 1,927,979	△ 1,741,231
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 18,010,501	△ 841,949	83,074,182	△ 91,526,417	72,774,589	△ 148,356,608
(E) 前期繰越損益金	△ 4,032,436,835	△ 3,854,856,525	△ 3,822,503,711	△ 3,686,992,601	△ 3,714,039,407	△ 3,601,150,339
(F) 追加信託差損益金	△ 995,313,023	△ 965,595,056	△ 971,364,245	△ 971,530,146	△ 969,678,061	△ 969,855,809
(配当等相当額)	(225,481,522)	(215,364,295)	(213,825,917)	(211,135,582)	(207,902,478)	(205,908,655)
(売買損益相当額)	(△ 1,220,794,545)	(△ 1,180,959,351)	(△ 1,185,190,162)	(△ 1,182,665,728)	(△ 1,177,580,539)	(△ 1,175,764,464)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 5,043,760,359	△ 4,821,293,530	△ 4,710,793,774	△ 4,750,049,164	△ 4,610,942,879	△ 4,719,362,756
(H) 収益分配金	△ 27,017,215	△ 25,683,427	△ 25,402,070	△ 24,985,303	△ 18,380,757	△ 18,148,967
次期繰越損益金 (G + H)	△ 5,070,777,574	△ 4,846,976,957	△ 4,736,195,844	△ 4,775,034,467	△ 4,629,323,636	△ 4,737,511,723
追加信託差損益金	△ 995,313,023	△ 965,595,056	△ 971,364,245	△ 971,530,146	△ 969,678,061	△ 969,855,809
(配当等相当額)	(225,481,522)	(215,364,295)	(213,825,917)	(211,135,582)	(207,902,478)	(205,908,655)
(売買損益相当額)	(△ 1,220,794,545)	(△ 1,180,959,351)	(△ 1,185,190,162)	(△ 1,182,665,728)	(△ 1,177,580,539)	(△ 1,175,764,464)
分配準備積立金	210,266,859	193,463,134	188,565,346	181,126,827	183,580,102	184,890,616
繰越損益金	△ 4,285,731,410	△ 4,074,845,035	△ 3,953,396,945	△ 3,984,631,148	△ 3,843,225,677	△ 3,952,546,530

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいひ、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期
(a) 経費控除後の配当等収益	22,659,210円	20,261,612円	23,439,001円	21,445,425円	25,094,445円	22,393,799円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	225,481,522	215,364,295	213,825,917	211,135,582	207,902,478	205,908,655
(d) 分配準備積立金	214,624,864	198,884,949	190,528,415	184,666,705	176,866,414	180,645,784
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	462,765,596	434,510,856	427,793,333	417,247,712	409,863,337	408,948,238
(f) 分配金	27,017,215	25,683,427	25,402,070	24,985,303	18,380,757	18,148,967
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	435,748,381	408,827,429	402,391,263	392,262,409	391,482,580	390,799,271
(h) 受益権総口数	6,754,303,939口	6,420,856,958口	6,350,517,582口	6,246,325,906口	6,126,919,048口	6,049,655,723口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期
		40円	40円	40円	40円	30円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

オージェンタム・トラスト・クロッキー・ジャパン・ストラテジー・ファンド
 日本円・クラス／豪ドル・クラス／ブラジル・レアル・クラス／
 米ドル・クラス／通貨セレクト・クラス

当ファンド（ダイワ日本株ストラテジーα（通貨選択型）－ジャパン・トリプルリターンズ－ 日本円・コース（毎月分配型）／豪ドル・コース（毎月分配型）／ブラジル・レアル・コース（毎月分配型）／米ドル・コース（毎月分配型）／通貨セレクト・コース（毎月分配型））はケイマン籍の外国投資信託「オージェンタム・トラスト・クロッキー・ジャパン・ストラテジー・ファンド 日本円・クラス／豪ドル・クラス／ブラジル・レアル・クラス／米ドル・クラス／通貨セレクト・クラス」に投資しておりますが、以下の内容は一部の項目を除きすべてのクラスを合算しております。

（注）2021年12月8日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

（日本円建て）

貸借対照表
 2021年2月28日

資産	
投資資産の評価額（簿価 ¥6,940,478,084）	¥ 6,774,123,268
現金および現金同等物	90,363,649
外国為替先渡取引による評価益	144
スワップ取引による評価益	62,113,165
未収：	
売却済みの投資	21,012
終了したスワップ取引	53,420
その他資産	840
資産合計	<u>6,926,675,498</u>
負債	
スワップ取引による評価損	11,056,831
未払：	
購入済みの投資	56,927,509
専門家報酬	8,377,813
担保金利不足額	3,870,000
管理会社報酬	2,772,242
運用会社報酬	1,180,616
為替投資アドバイザー報酬	685,719
名義書換代理人報酬	199,581
登録料	58,049
負債合計	<u>85,128,360</u>
純資産	<u>¥ 6,841,547,138</u>
豪ドル・クラス	¥ 337,160,123
ブラジル・レアル・クラス	1,253,763,098
日本円・クラス	1,418,072,145
通貨セレクト・クラス	1,829,765,111
米ドル・クラス	2,002,786,661
	<u>¥ 6,841,547,138</u>

発行済み受益証券		
豪ドル・クラス		6,327,602
ブラジル・リアル・クラス		57,825,067
日本円・クラス		21,134,292
通貨セレクト・クラス		71,928,086
米ドル・クラス		28,791,391

受益証券1口当り純資産額		
豪ドル・クラス	¥	53.284
ブラジル・リアル・クラス	¥	21.682
日本円・クラス	¥	67.098
通貨セレクト・クラス	¥	25.439
米ドル・クラス	¥	69.562

損益計算書

2021年2月28日に終了した会計年度

費用		
運用会社報酬	¥	15,831,868
支払利息		12,946,413
管理会社報酬		9,484,521
専門家報酬		9,162,195
担保不足費用		3,870,000
為替投資アドバイザー報酬		2,818,956
受託会社報酬		1,065,665
名義書換代理人報酬		1,065,156
その他費用		442,184
費用合計		<u>56,686,958</u>
投資損失		<u>(56,686,958)</u>
実現損益および評価損益：		
実現損益の内訳：		
証券投資		(611,602,353)
スワップ取引の評価損		(850,293,172)
外国為替取引および為替先渡取引		2,003,234
実現損失		<u>(1,459,892,291)</u>
評価損益の変動の内訳：		
証券投資		1,776,719,584
スワップ取引の評価額		371,179,760
外国為替換算および為替先渡取引		53,566
評価損益の変動		<u>2,147,952,910</u>
純実現損失および評価損益の純変動		<u>688,060,619</u>
運用による純資産の増加	¥	<u>631,373,661</u>

証券投資明細表

2021年2月28日

投資資産の明細	受益証券口数	純資産に占める割合	評価額
株式バスケットスワップ取引* - トータル・リターン・スワップ ストラクチャード商品合計 (簿価 ¥6,940,478,084)	58,012,531	99.01%	¥ 6,774,123,268
投資資産合計 (簿価 ¥6,940,478,084)		99.01%	¥ 6,774,123,268

*当ファンドは J.P. Morgan Securities plc. との間で締結したファンドの残高と同金額の元本のパフォーマンス・スワップを通して株式バスケットスワップ取引と同様のエクスポージャーを有しています。

外国為替先渡契約

買い	取引相手	想定元本	満期日	売り	想定元本	評価益	評価 (損)	純評価益 / (損)	純資産に占める割合
U S D	Brown Brothers Harriman & Co.	199	3/01/2021	J P Y	(21,012)	¥ 144	¥ -	¥ 144	0.00%

豪ドル・クラス外国為替スワップ取引

買い	取引相手	想定元本	満期日	売り	想定元本	純評価益	純資産に占める割合
A U D	J.P. Morgan Securities plc	4,185,897	3/5/2021	J P Y	(345,266,419)	¥ 8,666,748	0.13 %

ブラジル・リアル・クラス外国為替スワップ取引

買い	取引相手	想定元本	満期日	売り	想定元本	純評価 (損)	純資産に占める割合
B R L	J.P. Morgan Securities plc	69,747,393	3/5/2021	J P Y	(1,333,360,887)	¥ (4,870,890)	(0.07) %

通貨セレクト・クラス外国為替スワップ取引

買い	取引相手	想定元本	満期日	売り	想定元本	純評価益	純資産に占める割合
C N Y	J.P. Morgan Securities plc	18,467,939	3/5/2021	J P Y	(304,578,042)	¥ 5,304,255	0.08 %
I D R	J.P. Morgan Securities plc	40,709,534,109	3/5/2021	J P Y	(304,578,042)	(2,083,387)	(0.03) %
I N R	J.P. Morgan Securities plc	225,835,953	3/5/2021	J P Y	(327,421,396)	5,700,071	0.08 %
M X N	J.P. Morgan Securities plc	56,790,273	3/5/2021	J P Y	(289,349,141)	(4,102,554)	(0.06) %
T R Y	J.P. Morgan Securities plc	28,629,026	3/5/2021	J P Y	(411,180,358)	4,036,324	0.06 %
Z A R	J.P. Morgan Securities plc	37,887,776	3/5/2021	J P Y	(266,505,787)	3,489,092	0.05 %
合計						¥ 12,343,801	(0.18) %

米ドル・クラス外国為替スワップ取引

買い	取引相手	想定元本	満期日	売り	想定元本	純評価益	純資産に占める割合
U S D	J.P. Morgan Securities plc	19,450,654	3/5/2021	J P Y	(2,072,272,623)	¥ 34,916,675	0.51 %

ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ -

用語集：

AUD	豪ドル	J P Y	日本・円
B R L	ブラジル・リアル	M X N	メキシコ・ペソ
C N Y	中国・元	T R Y	トルコ・リラ
I D R	インドネシア・ルピア	U S D	米ドル
I N R	インド・ルピー	Z A R	南アフリカ・ランド

<補足情報>

当ファンド（ダイワ日本株ストラテジーα（通貨選択型）－ジャパン・トリプルリターンズ－）が投資対象としている「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」の決算日（2020年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第101期の決算日（2021年12月8日）現在におけるダイワ・マネースtock・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンドの主要な売買銘柄

2021年6月9日～2021年12月8日現在における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

2021年12月8日現在、有価証券等の組み入れはありません。

ダイワ・マネーストック・マザーファンド

運用報告書 第11期（決算日 2020年12月9日）

（作成対象期間 2019年12月10日～2020年12月9日）

ダイワ・マネーストック・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

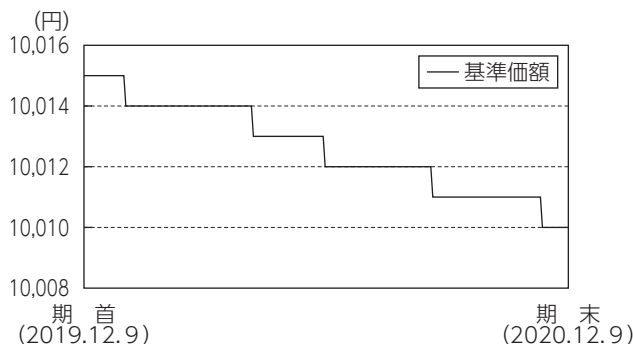
運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	
(期首)2019年12月9日	円	%	%
	10,015	-	-
12月末	10,015	0.0	-
2020年1月末	10,014	△0.0	-
2月末	10,014	△0.0	-
3月末	10,014	△0.0	-
4月末	10,013	△0.0	-
5月末	10,013	△0.0	-
6月末	10,012	△0.0	-
7月末	10,012	△0.0	-
8月末	10,011	△0.0	-
9月末	10,011	△0.0	-
10月末	10,011	△0.0	-
11月末	10,010	△0.0	-
(期末)2020年12月9日	10,010	△0.0	-

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
 (注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,015円 期末：10,010円 騰落率：△0.0%

【基準価額の主な変動要因】

コール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用 (その他)	0 (0)
合 計	0

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

当作成期中における売買および取引はありません。

■主要な売買銘柄

当作成期中における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2020年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	88,460,615	100.0
投資信託財産総額	88,460,615	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ・マネースtock・マザーファンド

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	88,460,615,301円
コール・ローン等	88,460,615,301
(B) 負債	50,000,000
未払解約金	50,000,000
(C) 純資産総額(A-B)	88,410,615,301
元本	88,319,921,795
次期繰越損益金	90,693,506
(D) 受益権総口数	88,319,921,795口
1万口当り基準価額(C/D)	10,010円

*期首における元本額は103,532,314,258円、当作成期間中における追加設定元本額は103,255,612,211円、同解約元本額は118,468,004,674円です。

*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ロボット・テクノロジー関連株ファンド - ロボテック-947,268円、ダイワ/ミレニアセット・インド株式ファンド - インドの匠-29,910,270円、ワールド・フィンテック革命ファンド (為替ヘッジなし) 998円、ワールド・フィンテック革命ファンド (為替ヘッジあり) 998円、新興国ソブリン・豪ドルファンド (毎月決算型) 999円、新興国ソブリン・ブラジルレアルファンド (毎月決算型) 999円、新興国ソブリン・ファンド (為替ヘッジあり/毎月決算型) 999円、U S短期ハイ・イールド社債ファンド (為替ヘッジあり/毎月決算型) 102,434円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド - ロボテック- (為替ヘッジあり) 39,849円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド (年1回決算型) - ロボテック (年1回) - (為替ヘッジあり) 3,985円、iFreeレバレッジ S & P 500 1,249,412,852円、iFreeレバレッジ N A S D A Q 100 11,006,295,149円、米国4資産リスク分散ファンド (年2回決算型) 689,912円、グリーンテック株式ファンド (資産成長型) 998,802円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド - ロボテック- (毎月決算/予想分配金提示型) 999円、ダイワ上場投信-日経平均レバレッジ・インデックス2,927,475,552円、ダイワ上場投信-日経平均ダブルインパース・インデックス6,683,086,104円、ダイワ上場投信-T O P I Xレバレッジ (2倍) 指数1,085,050,377円、ダイワ上場投信-T O P I Xダブルインパース (-2倍) 指数1,226,094,880円、ダイワ上場投信-日経平均インパース・インデックス25,058,858,800円、ダイワ上場投信-T O P I Xインパース (-1倍) 指数11,170,317,850円、ダイワ上場投信-J P X日経400レバレッジ・インデックス387,469,071円、ダイワ上場投信-J P X日経400インパース・インデックス611,537,975円、ダイワ上場投信-J P X日経400ダブルインパース・インデックス141,884,108円、ダイワ米国投資法人債ファンド (為替ヘッジあり) 2016-07 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド (為替ヘッジあり) 2016-10 997円、先進国トータルリターン戦略ファンド (リスク抑制型/適格機関投資家専用) 6,988,339,549円、ダイワ日本株式ベア・ファンド (適格機関投資家専用) 19,374,063,390円、低リスク型アロケーションファンド (金利トレンド判断付き/適格機関投資家専用) 179,433,743円、ダイワ日本国債15-20年ラダー型ファンド・マネーポートフォリオ - S L Tレレード-5,091,608円、ダイワ/ハリス世界厳選株ファンド・マネー・ポートフォリオ149,382,442円、ダイワ・アセアン内需関連株ファンド・マネー・ポートフォリオ5,609,419円、通貨選択型ダイワ/ミレニアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドII 豪ドル・コース (毎月分配型) 595,106円、通貨選択型ダイワ/ミレニアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドII ブラジル・レアル・コース (毎月分配型) 987,373円、通貨選択型ダイワ/ミレニアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドII 通貨セレクト・コース (毎月分配型) 494,581円、ダイワU S短期ハイ・イールド社債ファンド (為替ヘッジあり/年1回決算型) 9,957円、ダイワ米国バンクローン・オープン (為替ヘッジあり) 997円、ダイワ米国バンクローン・オープン (為替ヘッジなし) 997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジあり) 997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジなし) 997円、ダイワ/ミレニアセット・亜細亜株式ファンド9,958,176円、通貨選択型ダイワ/ミレニアセット・グローバル好配当株α (毎月分配型) 米ドル・コース1,989,053円、通貨選択型ダイワ/ミレニアセット・グローバル好配当株α (毎月分配型) ブラジル・レアル・コース2,978,118円、通貨選択型ダイワ/ミレニアセット・グローバル好配当株α (毎月分配型) 通貨セレクト・コース1,691,241円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド (年1回決算型) - ロボテック (年1回) -100,588円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり (毎月分配型) 399,083円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし (毎月分配型) 99,771円、通貨選択型ダイワ先進

国リートα 円ヘッジコース (毎月分配型) 399,083円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 通貨セレクトコース (毎月分配型) 99,771円、ダイワ/ミレニアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド (為替ヘッジあり) 1,091,429円、ダイワ/ミレニアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド (為替ヘッジなし) 315,004円、ダイワ/ミレニアセット・アジア・セクターリーダー株ファンド10,009,811円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 日本円・コース (毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 豪ドル・コース (毎月分配型) 99,691円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- ブラジル・レアル・コース (毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 米ドル・コース (毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 通貨セレクト・コース (毎月分配型) 1,993,820円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 日本円・コース300,273円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 豪ドル・コース200,861円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 ブラジル・レアル・コース300,273円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 米ドル・コース1,999,177円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 通貨セレクト・コース505,900円です。

*当期末の計算口数当りの純資産額は10,010円です。

■損益の状況

当期 自2019年12月10日 至2020年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 34,974,173円
受取利息	1,075,374
支払利息	△ 36,049,547
(B) その他費用	△ 1,522,123
(C) 当期損益金(A+B)	△ 36,496,296
(D) 前期繰越損益金	156,051,230
(E) 解約差損益金	△161,476,434
(F) 追加信託差損益金	132,615,006
(G) 合計(C+D+E+F)	90,693,506
次期繰越損益金(G)	90,693,506

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。